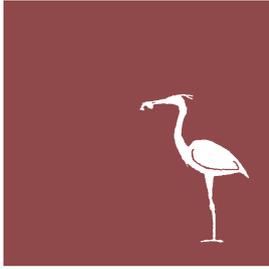


浦幌町立博物館

# 年報

第11号



Historical Museum of Urahoro

---

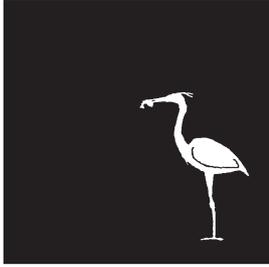
**2010**  
**10**

---

浦幌町立博物館

# 年報

第11号



Historical Museum of Urahoro

---

**2010**  
**10**

---

# 序

『浦幌町立博物館年報』第11号をお届けします。本書は、2009（平成21）年度における本館の活動状況をとりとまとめたものです。平成21年度におきましても、企画展や各種講座を開催して参りました。それぞれの事業内容につきましては、本書をご一読していただければ幸いに存じます。本館におきましては、おおむね充実した1年であったと考えております。

博物館は、地域の歴史や文化、自然など共有の財産の保護、活用を図り、これらに関する調査研究を通じて、生涯学習の場として町民の皆様に情報を提供して、長い年月にわたって築き上げられた貴重な財産を次の世代に引き継ぎ、伝えていかなければならないと思っております。

しかしながら、地方自治をとりまく環境は一段と厳しく、本町におきましても厳しい財政事情となっております。常設展示の更新、入館者数の伸び悩みなど、解決しなければならない課題はありますが、浦幌の魅力を再発見していただけるよう町民の皆様に親しまれ、地域と連携した博物館活動を展開して参りたいと思っております。

最後になりましたが、本館の管理運営に種々ご指導いただきました町民の皆様をはじめ、町立博物館協議会委員の皆様、そして資料を提供して頂きました皆様、企画展、各種講座に参加下さいました皆様、本館に足を運んで下さった多くの皆様に深く感謝を申し上げ、序といたします。

2010年10月

浦幌町立博物館長 佐藤 芳雄

## ● 本文目次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 序                       | i  |
| 目次                      | ii |
| I. 施設の概要                | 1  |
| II. 常設展示構成              | 2  |
| III. 資料の受け入れ            | 13 |
| (1) 受贈資料                | 13 |
| (2) 採集資料                | 14 |
| (3) 受贈図書資料              | 15 |
| IV. 資料の提供               | 21 |
| V. 博物館の事業               | 22 |
| VI. レファレンス業務            | 31 |
| VII. 博物館ボランティア          | 31 |
| VIII. 博物館日誌(抄)          | 32 |
| IX. 博物館の利用状況            | 35 |
| X. 博物館の組織               | 36 |
| XI. 博物館活動のマスコミ報道        | 37 |
| XII. 条例、教育委員会規則、教育委員会規程 | 47 |
| XIII. 平成21年度予算          | 59 |

## ● 写真目次

|   |    |
|---|----|
| PL. 1 開町110年記念写真展                       | 24 |
| PL. 2 開町110年記念写真展                       | 24 |
| PL. 3 浦幌高校職業体験                          | 24 |
| PL. 4 浦幌高校職業体験                          | 25 |
| PL. 5 ニードル・フェルト教室                       | 25 |
| PL. 6 恐竜絶滅の謎を探る K/T境界層見学会               | 26 |
| PL. 7 恐竜絶滅の謎を探る K/T境界層見学会               | 26 |
| PL. 8 小企画展「真夏の残像・・・あの夏の熱き想い・・・戦争体験を伝える」 | 27 |
| PL. 9 レコードジャケット展                        | 27 |
| PL.10 浦幌中学校職業体験                         | 27 |
| PL.11 移動展「墨の色・文字の形」                     | 28 |
| PL.12 デコパージュ教室                          | 28 |
| PL.13 化石のレプリカづくり教室                      | 28 |
| PL.14 ひなまつり撮影会                          | 29 |
| PL.15 ヒグマの学校                            | 29 |
| PL.16 ヒグマの学校                            | 30 |

## ● 図版目次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| Fig. 1 常設展示ゾーニング図        | 5  |
| Fig. 2 ヒグマシンボル図          | 5  |
| Fig. 3 K-T境界             | 6  |
| Fig. 4 十勝川下流域の地質時代史      | 6  |
| Fig. 5 北海道の初期の土器文化       | 7  |
| Fig. 6 シベリアから来た石刃鏃文化     | 7  |
| Fig. 7 十勝太若月遺跡土坑墓配置図     | 8  |
| Fig. 8 続縄文文化と墓           | 8  |
| Fig. 9 擦文ムラと住居           | 9  |
| Fig. 10 擦文文化の鉄と農耕        | 9  |
| Fig. 11 いろいろな土器          | 10 |
| Fig. 12 いろいろな石器          | 10 |
| Fig. 13 チャシ              | 11 |
| Fig. 14 送り場              | 11 |
| Fig. 15 トカチの成立とトカチ場所     | 12 |
| Fig. 16 オヘチコカシ村の成立と初期の開墾 | 12 |

## I. 施設の概要

名 称 浦幌町立博物館 (英文表記 Historical Museum of Urahoro)

所在地 〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16番地1

電 話 015-576-2009 (直通) 015-576-2111 (代) 内線542

ファックス 015-576-2452

ホームページアドレス

<http://www.library.ne.jp/raporo21/>

メールアドレス

[raporo21@poppy.ocn.ne.jp](mailto:raporo21@poppy.ocn.ne.jp)

建物構造 鉄筋コンクリート造・地上2階建 最高の高さ 10.45m (最高軒高 9.70m)

総工費 983,514千円 (備品購入費を含む)

敷地面積 4,575.907㎡

建築面積 1,804.34㎡

延床面積 2,542.17㎡ (1階:1,518.48㎡ 2階:1,023.69㎡)

### 博物館単独スペース

常設展示室 378.56㎡

学芸員室 45.50㎡

整理室 78.40㎡

写真室 19.50㎡

収蔵庫 71.50㎡

計 593.46㎡

### 博物館・図書館・教育委員会事務局共有スペース

視聴覚室 172.90㎡

調整室 19.98㎡

キッズルーム 7.29㎡

1階ホール 182.17㎡

2階ホール 166.50㎡

会議室 63.00㎡

書庫 29.75㎡

機械室 31.08㎡

休憩室 11.55㎡

計 684.22㎡

駐車場 正面 普通乗用車用 23台分 (うち身体障害者用 2台分)

裏面 普通乗用車用 19台分

計 42台分

開館時間 午前10時～午後5時

休館日 月曜日・祝日・年末年始・その他館長が認めた日

入館料 無料

交通 ・JR根室線浦幌駅下車 徒歩5分

・とち帯広空港から車で約60分

・都市間バス 帯広⇄釧路「浦幌ハローパーク前」下車 徒歩3分

施設設備 エレベーター 1基

車椅子 2台

常設展示室設備

プロローグ音響システム

I. 施設の概要

- アオサギ営巣地ジオラマ音響システム
- DVDによる100インチ映像システム
- 浦幌町の概要紹介（町の概要・町の花鳥木・産業・イベント・文化・歴史）
- 5つのエリア（上浦幌・中浦幌・市街地・下浦幌・東部地区）
- 施設紹介メインマップ
- 映像情報メニュー（遺跡探検・浦幌川河口から源流まで・野鳥観察・浦幌の四季）
- ポイント情報メニュー（自然観察・先史遺跡・チャシ跡観察ポイント）
- DVD映像システム（うらほろの歴史・十勝ゆかりの人々・地図でたどるうらほろ）
- 開拓獅子舞音響システム

## II. 常設展示構成

博物館の常設展示は、次の6コーナーで構成されている。

- I. 自然からのメッセージ（プロローグ）
- II. アオサギの世界
- III. 十勝・浦幌の自然誌
- IV. 石器と土器の文化
- V. アイヌの暮らし
- VI. 十勝・浦幌のあゆみ

これらのコーナーはそれぞれ、次のような展示から構成される。

|     |   |                     |  |
|-----|---|---------------------|--|
| I   | 1 | 魚                   | ヤマメ、イワナ、フクドジョウ、イバラトミヨ、ハナカジカ、イトウ、チョウザメ  |
|     | 2 | 昆虫                  |  |
|     | 3 | 鳥                   | オオヒシクイ、ノスリタカ、クマゲラ、キレンジャク、ヤマセミ、オオルリ、アマサギ、カワアイサ②   |
|     | 4 | 花                   | ウラボロイチゲ  |
| II  | 1 | アオサギの世界             | アオサギジオラマ展示、採捕中のアオサギ、飛行中のアオサギ   |
|     | 2 | 浦幌町の自然              | 月別平均気温と雨量、浦幌の四季  |
|     | 3 | 鳥類個体展示              | エゾフクロウ、オオコノハズク、コノハズク、クマタカ、カケス、アカショウビン、コルリ、メジロ、センダイムシクイ、ツミタカ、チゴハヤブサ、エゾライチョウ♂、エゾライチョウ♀、マガモ、コガモ、オシドリ、オオワシ②                            |
| III | 1 | デジタルマップ100インチ映像システム | (1) 浦幌町の概要紹介〔町の概要、町の花・鳥・木、町の産業、祭り、文化など〕<br>(2) 5つのエリア〔上浦幌地区・中浦幌地区・市街地・下浦幌地区・東部地区〕<br>(3) 施設紹介メインマップ〔メインマップ、マップのズームアップ、市街地マップ、施設情報〕 |

|     |    |                     |   |
|-----|----|---------------------|---|
| III | 1  | デジタルマップ100インチ映像システム | (4) 映像情報メニュー〔遺跡探検、浦幌川-河口から源流まで、野鳥観察、浦幌の四季〕<br>(5) ポイント情報メニュー〔自然観察ポイント、先史遺跡ポイント、チャシ跡観察ポイント〕  |
|     | 2  | 十勝川下流域の地質時代史        | 十勝川下流域の河岸段丘   |
|     | 3  | 十勝川下流域の地質時代史        | K-T境界、デスモスチルス想像図、デスモスチルス白歯化石③、シンカイヒバリガイ化石   |
| IV  | 1  | 発掘の様子               | 発掘前、測量、表土の剥ぎ取り、発掘、住居跡覆土採取用メッシュ、住居跡の発掘、地層の図面づくり、出土した土器、固形剤塗り、住居床面の土の採取、住居跡全景、実測、土の天日乾燥、極小品の選別②、ラジコンヘリコプターによる空中撮影・整理・水洗い、図面づくり、報告書の完成 |
|     | 2  | 十勝太若月遺跡土坑墓          | 土坑墓ジオラマ展示   |
|     | 3  | 北海道の先史文化のうつりかわり     | 図入り年表   |
|     | 4  | 北海道の初期の土器文化         | 研究のはじめ、尖底土器と平底土器、河野広道、澤四郎、テンネル・暁式土器群、下頃辺式土器   |
|     | 5  | シベリアから来た石刃鏃文化       | 研究のはじめ、北海道の石刃鏃文化遺跡、シベリアの石刃鏃文化遺跡、斎藤米太郎、名取武光、浦幌式土器、石刃鏃、石核、石錐、搔器、削器、石刃槍、彫器、石錘、砥石、敲石、石斧   |
|     | 6  | 縄文文化と墓              | 縄文文化と十勝太若月遺跡、墓の大きさ比べ、土坑墓52の配置図、十勝太若月遺跡の土坑墓、縄文時代前期の土器、後北C1式土器、コハク製玉類、ガラス小玉、砥石、銚先   |
|     | 7  | 擦文ムラと住居             | 住居と生活用具、十勝の擦文文化遺跡、擦文文化の遺跡分布、十勝太若月遺跡、十勝太地区の擦文住居跡分布、擦文住居の復元図、擦文土器、柱、木器、紡錘車  |
|     | 8  | 擦文文化の鉄と農耕           | 鉄と農耕の普及、全道各地出土の轡の羽口、擦文時代の植物栽培図、鉄斧、刀子、鉄滓、オオムギ・キビ・シソの炭化種子、オニグルミ堅果   |
|     | 9  | いろいろな土器             | 縄文文化と土器、作り方、形、文様、変遷   |
|     | 10 | いろいろな石器             | 石器の材料、作り方、黒曜石原材産地、使い方   |
|     | 11 | 十勝の著名遺跡             | 八千代A遺跡、下大樹遺跡、十勝ホロカヤントー堅穴群、ユクエピラチャシ跡、広尾仙台藩陣屋跡  |
|     | 12 | 土器の個体展示             | 縄文土器⑥、縄文土器⑥、擦文土器⑥   |
| V   | 1  | アイヌの暮らし             | アイヌ酒宴の図、マレク漁の図、蝦夷島奇観  |
|     | 2  | チャシ                 | 史跡オタフンベチャシ跡、礼文内神社チャシ跡、アツナイチャシ跡、チプネオコツペチャシ跡、十勝川口チャシ跡、十勝太Dチャシ跡、旅来チャシ跡、安骨チャシ跡、霧止山チャシ跡、帯富チャシ跡、稲穂チャシ跡                                    |
|     | 3  | 伝製品                 | シントコ③、イタ、ニンカリ、イクパスイ③、タマサイ③、ツキ、バッチ、エムシ   |
|     | 4  | 送り場                 | 十勝太海岸段丘遺跡出土品  |

II. 常設展示構成

|    |    |                  |  |
|----|----|------------------|--|
| VI | 1  | トカチの成立とトカチ場所     | 正保日本図、トカチ場所の主な産物、松浦武四郎、最上徳内、近藤重蔵、トカチ御場所山川沼地名里数粗絵図扣   |
|    | 2  | オヘチコカシ村の成立と初期の開墾 | 7郡51ヶ村のうつりかわり、殖民地区画作業、河合牧場、岐阜農場、開墾風景、サケ漁、斎藤漁場  |
|    | 3  | 新しいムラづくり         | 下浦幌市街都市計画図、明治43年主要市街地戸数人口、戸長役場、浦幌駅開業、第一浦幌尋常小学校と養老尋常小学校との連合運動会、黒岩農場、斎藤牧場                                      |
|    | 4  | 新しいマチづくり         | 昭和27年十勝沖大震災で震度7を記録、昭和24年ころの市街大通り、開村50年記念乳牛共進会、校内マラソン、昭和35年チリ地震による津波の被害、森永乳業、ロランC局、市街商店街、開町70年記念パレード、十勝バス運行風景 |
|    | 5  | 着る               | 蓑、くけ台、ミシン、火のし、ハンドバッグ、開墾たび、アイロン、バスケット、深わら靴  |
|    | 6  | 食べる              | 膳、櫃、食器、木鉢、砂糖入れ、重ね鉢、弁当箱、石臼、壺、鉄びん、カツオ削り器、野菜削りカンナ   |
|    | 7  | 住む               | ローソク立て、自在鍵、石油ランプ、柱時計、手下げランプ、ネズミ捕り、電気アンカ、薬箱   |
|    | 8  | 農                | 亜麻播種器、一斗枿、からさお、風呂鍬、窓鍬、平鍬、豆播種器  |
|    | 9  | 林                | トビ、村田銃、ガンタ、サッティ、刃広、くさび、杙打ち用具、窓鋸、天王寺鋸   |
|    | 10 | 鋳                | キャップランプ、革手袋、ベルト、ガス自動警報器、測風器微風計、工類表入れ、工類表、安全靴、携帯用ガス警報器、風測計、携帯用坑内誘導無線機、カンテラ、一酸化炭素検知管、救命器                       |
|    | 11 | 浦幌開拓獅子舞          | 住吉神社と加賀団体開拓記念碑、浦幌開拓獅子舞、浦幌開拓獅子舞の獅子頭、稲穂獅子舞の獅子頭、初期の浦幌開拓獅子舞の姿、浦幌開拓獅子舞おはやしの音響                                     |
|    | 12 | 生活資料ディスプレイ       | ラジオ、選択バサミ、算盤、下駄、かんじき、ノンコ、SPレコード盤、藁靴の型、提灯用箱、湯たんぽ  |
|    | 13 | 37インチ映像コーナー      | うらほろの歴史、十勝ゆかりの人々、地図でたどるうらほろ  |

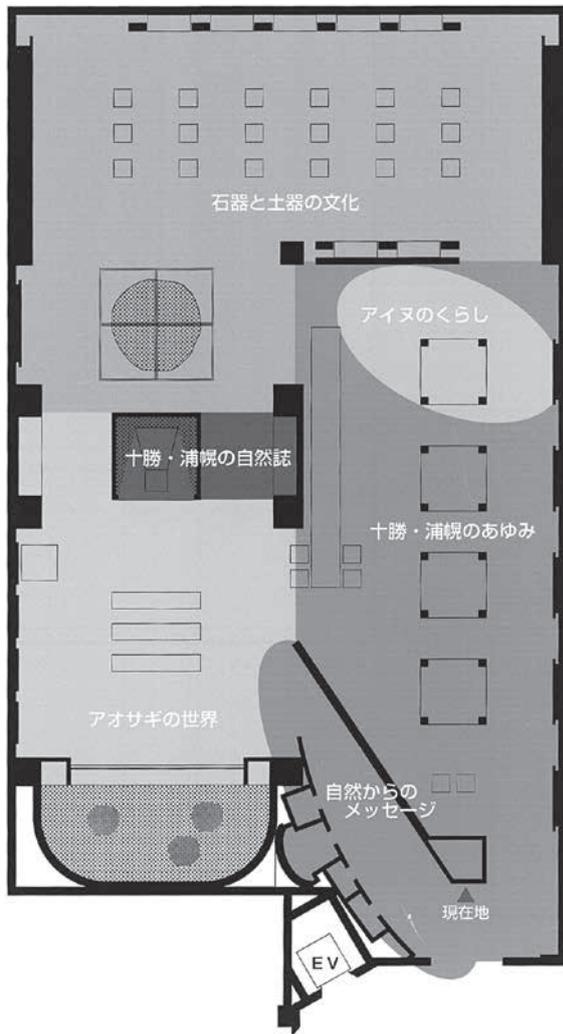


Fig.1 常設展示ゾーニング図



Fig.2 ヒグマ シンボル図

# K-T境界

Discoveries of anomalously high Ir concentrations K-T boundary sediments

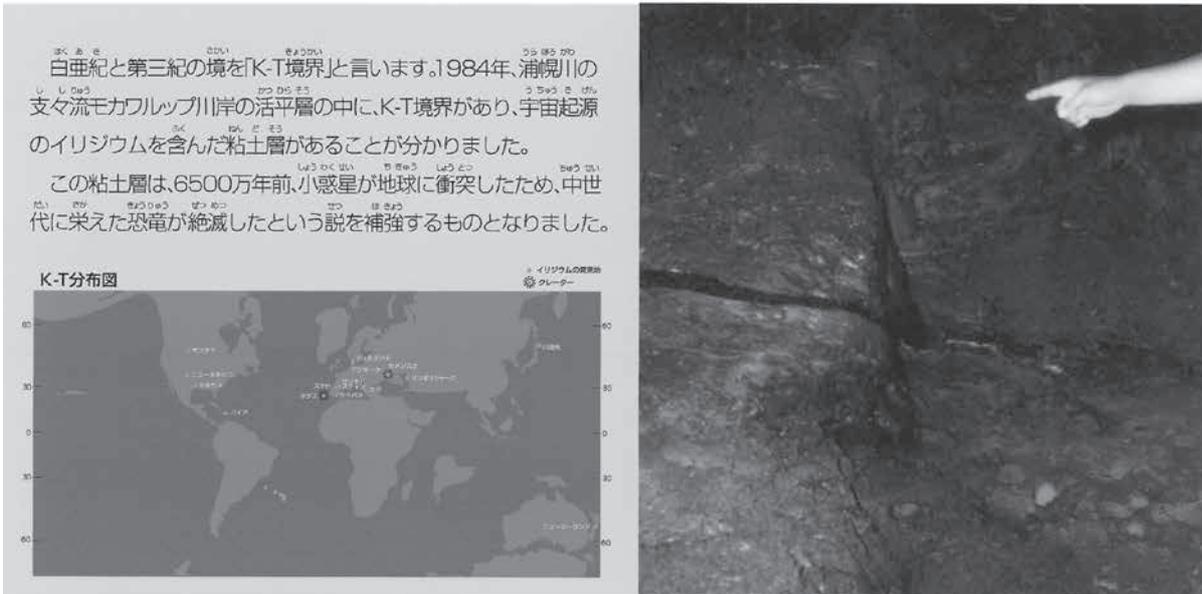


Fig.3 K - T境界

## 十勝川下流域の地質時代史 Geologic age in the region of the lower course of the Tokachi River



Fig.4 十勝川下流域の地質時代史



II. 常設展示構成

十勝太若月遺跡土坑墓配置図  
Grave No.36, Tokachibuto-Wakatsuki site Epi-Johmon period.



Fig.7 十勝太若月遺跡土坑墓配置図

続縄文文化と墓  
The epi-johmon culture and Grave

**続縄文文化と十勝太若月遺跡**

続縄文文化は、縄文文化の印紋を残しながら、鉄などを取り入れた文化で、本州の弥生文化に相当します。この文化の遺跡からは墓が発見されることが多く、十勝太若月遺跡は大規模な墓遺跡としてよく知られています。

墓は、楕円形に土を掘って墓穴としますが、十勝太若月遺跡には高さ7m以上の掘り下げた墓や、深さ1m50cmの円形の墓も見つかります。これらは、2m以上を掘り下げた土鏡の可能性があると考えられています。土鏡の縁がヤシリなどの石製、ガラス製の小玉、碧玉製の管玉、コハク製の平玉などの装飾品があり、本州にも見られます。

**墓の大きさを比べ**

**土坑墓B2の副葬品**

十勝太若月遺跡の土坑墓

Fig.8 続縄文文化と墓



II. 常設展示構成

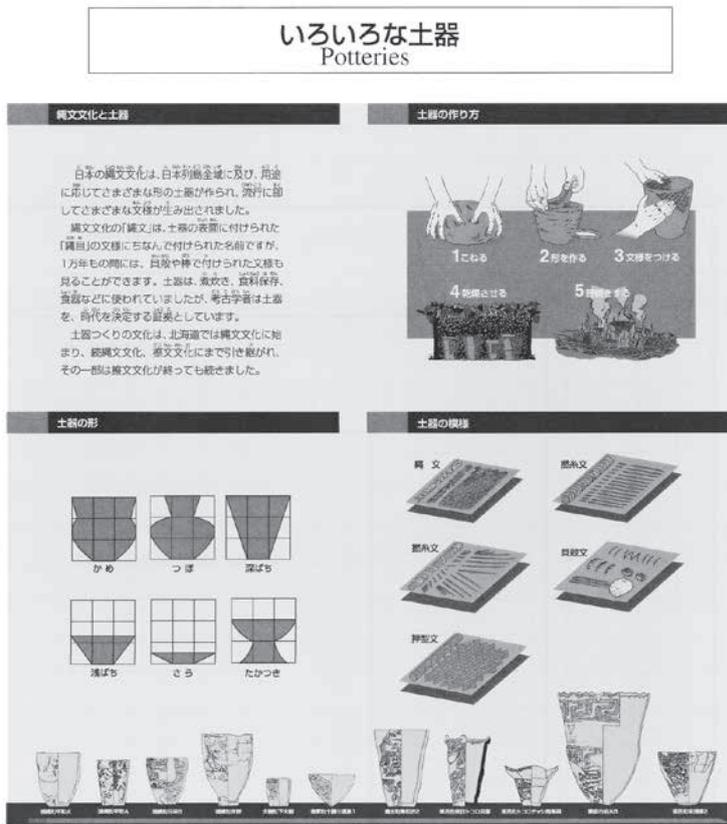


Fig.11 いろいろな土器



Fig.12 いろいろな石器

チャシ  
Cast

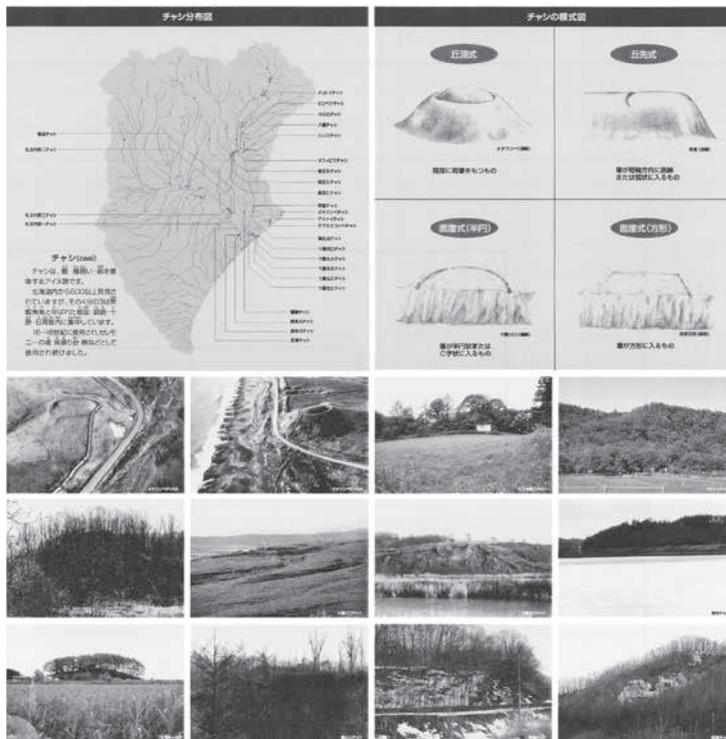


Fig.13 チャシ

送り場  
*kenmoku*: site and that surroundings

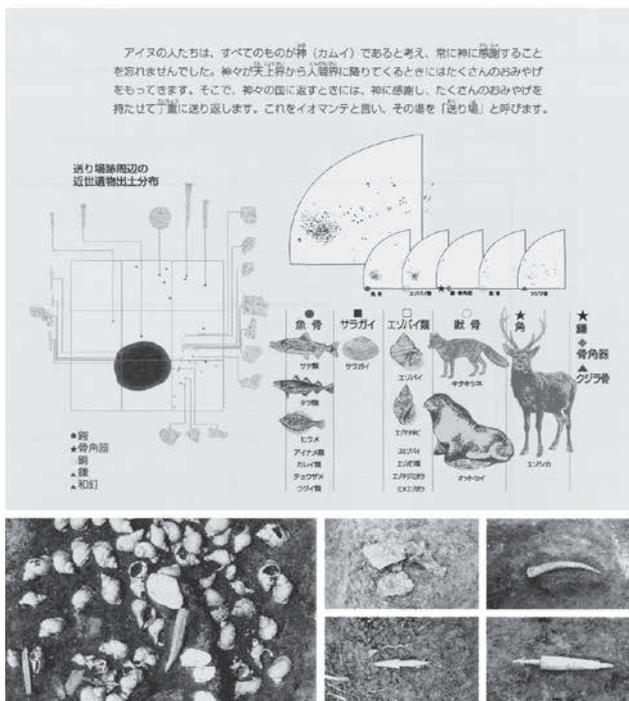


Fig.14 送り場

II. 常設展示構成



Fig.15 トカチの成立とトカチ場所

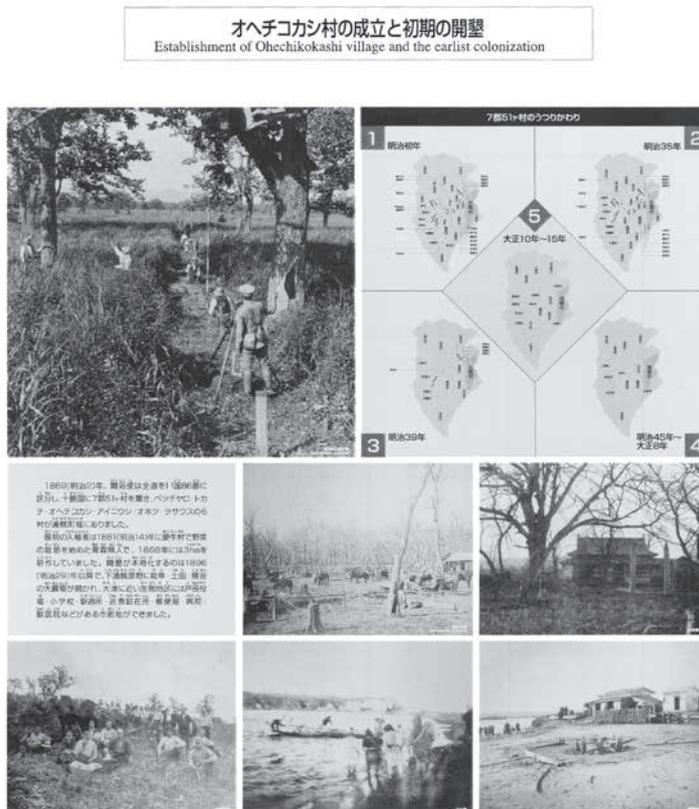


Fig.16 オヘチコカシ村の成立と初期の開墾

## Ⅲ. 資料の受け入れ

### (1) 受贈資料

| 月 日   | 氏 名       | 住 所     | 品 名   | 数量  |
|-------|-----------|---------|---|-----|
| 6・11  | 浦幌町教育委員会  | 浦幌町字桜町  | 統太A遺跡 石器13、土器7  | 20  |
| 6・12  | 浦幌町給食センター | 浦幌町字万年  | 湯呑み茶わん  | 1   |
| 6・12  | 我 妻 美恵子   | 浦幌町字住吉町 | カメラ   | 1   |
| 6・12  | 皆 川 昭 徳   | 浦幌町字厚内  | オルガン、カラオケセット、太鼓、火鉢2、五徳、火箸   | 7   |
| 7・9   | 渡 邊 道     | 浦幌町字十勝太 | 図書9、写真、賞状、功七級金鷄勲章、勲七等青色桐葉章、軍人遺族記章   | 14  |
| 7・13  | 三 浦 直 春   | 浦幌町字住吉町 | カメラ、ズームレンズ2、ストロボ、ストロボ台、電球バスプ、連写台、カメラバック、三脚  | 9   |
| 7・24  | 木 谷 敏     | 浦幌町字寿町  | オルガン  | 1   |
| 7・24  | 渡 邊 道     | 浦幌町字十勝太 | 盃3、懐想十勝小学校83  | 4   |
| 7・24  | 佐 藤 喜 和   | 日 本 大 学 | 修士論文  | 1   |
| 7・24  | 北海道環境生活部  | 札 幌 市   | アイヌモシリアイヌ民族の誇ー DVD  | 1   |
| 8・3   | 図 書 館     | 浦幌町字桜町  | ラジオカセットレコーダー、16mm映写機、フィルム巻取りリール、メイプルタウンの交通安全(16mmフィルム)                                | 5   |
| 8・3   | 浦幌町教育委員会  | 浦幌町字桜町  | 町史編さん資料・開拓古老座談会(8mmフィルム)、8mmフィルム3、第1回講師会議議案、浦幌町電話帳                                    | 7   |
| 8・3   | 浦 幌 町     | 浦幌町字桜町  | 学校敷地及建物図、土地分割届、土地分割図2、分割図、貴老路・豊北・瀬多来・留真図、道路占用許可願、浦幌町管内図                               | 11  |
| 10・8  | 久 保 俊 子   | 浦幌町字南町  | くけ台、花瓶2、茶箱2、ラジオ、切手収集帳2、掛軸、ソロバン、時計、折尺、羽織紐2、黄楊櫛、糸、針、針山、カラス一銭アルミ貨、拾圓、富士1銭アルミ貨、一銭錫亜鉛貨、他12 | 34  |
| 11・11 | 石 橋 明 子   | 浦幌町字住吉町 | 音盤97、音盤袋3、ソノシート5  | 105 |
| 12・29 | 野 村 ア キ   | 浦幌町字栄町  | ダイヤル式テレビ  | 1   |
| 2・1   | 下 坂 美佐江   | 浦幌町字幸町  | 雛人形、ひなまつり掛軸   | 2   |
| 2・2   | 東 等 義 光   | 浦幌町字活平  | キベリタテハなど24種   |     |
| 2・2   | 図 書 館     | 浦幌町字桜町  | テレマップうらほろ   | 1   |
| 2・18  | 出 口 恵 子   | 浦幌町字十勝太 | ミシン、ミシン糸12、絹糸3、とじ糸、ミシン針、マチ針、麻袋針、目打ち、ルーレット、ドライバー、ボビン5、油さし、鋸、押え金、直線縫い押え                 | 32  |
| 3・2   | 勸北海道開拓記念館 | 札 幌 市   | 北の開拓物語 DVD  | 1   |

III. 資料の受け入れ

(2) 採集資料

| 月 日   | 資 料 名                 | 数量 | 摘 要                                      |
|-------|-----------------------|----|--|
| 6・12  | うらほろ議会だより             | 3  | 浦幌町議会広報編集特別委員会                           |
| 6・22  | チラシ                   | 1  | ベジタブルショップ春の大感謝祭!                         |
| 6・22  | チラシ                   | 1  | プレミアム商品券第2弾!!                            |
| 6・22  | チラシ                   | 1  | プレミアム商品券おたのしみ抽選会                         |
| 6・22  | チラシ                   | 1  | 季節労働者資格取得促進支援講習会                         |
| 6・22  | 本別・浦幌間バス時刻表           | 1  | 本別生活維持路線バス・十勝バス・スクールバス                   |
| 6・22  | チラシ                   | 1  | 新型インフルエンザを知っていただくために                     |
| 6・22  | チラシ                   | 1  | 開町110年記念植樹祭                              |
| 7・2   | チラシ                   | 1  | うらほろフォーラム2009                            |
| 7・2   | チラシ                   | 1  | 地域人材育成セミナーのご案内                           |
| 7・2   | チラシ                   | 1  | 図説 帯広・十勝の歴史 (株郷土出版社)                     |
| 7・9   | チラシ                   | 1  | 2009こども祭り 浦幌町商工会青年部                      |
| 7・23  | 浦高祭ポスター               | 1  | 北海道立浦幌高等学校                               |
| 7・24  | チラシ                   | 1  | 第49回最後の浦高祭                               |
| 7・24  | カレンダー                 | 1  | 国学院大学考古学資料館                              |
| 7・24  | チラシ                   | 1  | 第19回ふるさとの夏まつり                            |
| 12・15 | 池田・豊頃・浦幌J R列車十勝バス時刻表  | 1  | フロンティア                                   |
| 12・15 | チラシ                   | 1  | 道の駅 OPEN                                 |
| 12・15 | チラシ                   | 1  | 第34回うらほろふるさとのみのりまつり                      |
| 12・15 | チラシ                   | 1  | 星澤先生の創ろう!うらほろクッキングショー                    |
| 12・15 | チラシ                   | 1  | うらほろプレミアム商品券 有効期限                        |
| 12・15 | 厚内・上厚内・新吉野・浦幌駅列車時刻表   | 1  | J R 浦幌駅                                  |
| 12・15 | 帯広百年記念館移動展リーフレット      | 1  | 書道展墨の色・文字の形                              |
| 12・15 | チラシ                   | 1  | 北海道横断自動車道(本別IC~浦幌IC)開通記念ウオーキング参加者を募集します! |
| 12・15 | チラシ                   | 1  | プレミアム商品券 第3弾!!                           |
| 12・15 | チラシ                   | 1  | 新型インフルエンザ~病院に電話をしてから受信を                  |
| 12・15 | チラシ                   | 1  | 新型インフルエンザに感染しない拮げない                      |
| 12・29 | チラシ                   | 1  | 新型インフルエンザワクチンの接種が始まります                   |
| 2・2   | チョウ                   | 6  | カラスアゲハなど6種                               |
| 2・2   | チョウ                   | 1  | 新型インフルエンザワクチンの接種予約が始まります(19歳~64歳まで)      |
| 2・2   | チラシ                   | 1  | 厄はらい祈願祭 浦幌神社                             |
| 2・2   | チラシ                   | 1  | 浦幌町のみなさまブロードバンドドコモではじめてみませんか?            |
| 2・2   | カレンダー                 | 1  | 浦幌町・浦幌町商工会                               |
| 3・26  | 広報 Urahoro No.684~695 | 12 | 浦幌町まちづくり政策課広報広聴係                         |
| 3・26  | うらほろ議会だより             | 2  | 浦幌町議会広報編集特別委員会                           |

(3) 受贈図書資料

【北海道】

北海道開拓記念館

北海道開拓記念館調査報告 第48号  
 北海道開拓記念館研究紀要 第37号  
 北海道開拓記念館だより 203～206号  
 2008 要覧  
 林家資料目録  
 象化石

北海道立アイヌ民族文化研究センター

北海道立アイヌ民族文化研究センター年報 2008  
 研究紀要 第15号  
 鷗川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究  
 アイヌ民族文化研究センターだより No.30・31

北海道立文学館報

北海道立文学館報 第78・79号

北海道立文書館

赤れんが No.44

北海道大学総合博物館

北海道大学総合博物館ニュース 第19・20号  
 北海道大学総合博物館研究報告 No.5  
 北大分類学の系譜  
 疋田豊治ガラス乾板写真展

(財)北海道埋蔵文化財センター

調査年報 22  
 恵庭市 西松5遺跡(6)  
 恵庭市 柏木川4遺跡(4)  
 白滝遺跡群X  
 千歳市 オルイカ2遺跡(3)  
 千歳市 アンカリトー7遺跡・アンカリトー9遺跡  
 千歳市 梅川4遺跡  
 富良野市 学田三区2遺跡・学田三区3遺跡  
 下川町 サンプル4線遺跡(2)  
 テエタ 第22・23号

北海道博物館協会

平成20年度 北海道博物館協会加盟館園等現況  
 第48回北海道博物館大会資料  
 道博協ニュース 第95～97号

北海道教育大学

北海道教育大学紀要 人文学・社会科学編  
 第59巻 第2号  
 北海道教育大学紀要 人文学・社会科学編  
 第60巻 第1号  
 さあ アイヌ文化を学ぼう!

北海道大学

北大構内の遺跡XVI  
 埋蔵文化財調査室ニュースレター 第3～5号  
 リテラ ポプリ 36～38号

北海学園大学

学園論集 第138～142号  
 開発論集 第83～85号

札幌学院大学

札幌学院大学学芸員課程年報 22

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構

平成21年度アイヌ語ラジオ講座テキストVol.2～4  
 平成22年度アイヌ語ラジオ講座テキストVol.1  
 普及啓発セミナー報告集 平成20年度  
 平成21年度 財団のあらまし  
 第13回 アイヌ語弁論大会報告書イタカンロー  
 アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告 第8号  
 アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告 第9号  
 (上巻研究篇)  
 アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告 第9号  
 (下巻資料編)

アイヌの人たちとともにーその歴史と文化ー  
 パイエアンロ  
 Paye = an ro  
 アイヌの美ーカムイと創造する世界ー

北海道報徳社

北海道報徳社情報 第345～349号

札幌市

平成16～20年度 調査報告書  
 K518遺跡第2次調査  
 S228遺跡  
 K113遺跡 第3次調査

(社)北方領土復帰期成同盟

2008年度 われらの北方領土 ー資料編ー

**NPO法人カルチャーナイト北海道**

ふしぎな街と出会う夜

**北の縄文世界展実行委員会**

北の縄文世界—土偶からのメッセージ—

**(財)北海道文化財団**

北のとびら82

**利尻町立博物館**

利尻研究 第29号

**留萌市海のふるさと館**

留萌市海のふるさと館紀要 第20号

**旭川市博物科学館**

旭川市博物科学館報 Vol. 1

旭川市博物科学館研究報告 第1号

**中原悌二郎記念旭川市美術館**

平成19年度 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館年報

**三笠市立博物館**

三笠市立博物館年報 第26号

三笠市立博物館年報 第27号

三笠市立博物館紀要 自然科学第12号

三笠市立博物館紀要 自然科学第13号

**江別市郷土資料館**

高砂遺跡 (20)

大麻26遺跡 (2)

**層雲峡ビジターセンター**

層雲峡ビジターセンターだより No.35～39

**北海道立北方民族博物館**

北方民族博物館だより No.73～75

千島列島に生きる アイヌと日露・交流の記憶

**斜里町教育委員会**

ウトロ遺跡

オライネコタン遺跡

カモイベツ遺跡

知床の考古

**美幌農業館・博物館**

美幌博物館研究報告 第16号

2007 美幌農業館・博物館年報

2008年度 博物館自然講座

2008年度 自然を語ろう！びほろふるさと体験隊

博物館フォーラム 「移入昆虫からふるさとの自然を考える」

グリーンレター 第147～157号

**戸部千春**

昔の暮らしを学ぼう

アイヌ民族のマキリ鞆 第1集

アイヌ民族のマキリ鞆 第2集

**津別町教育委員会**

ツペットウンチャシ跡

**標津町教育委員会**

平成20年度

史跡 標津遺跡群伊茶仁カリカリウス遺跡

**羅臼町郷土資料館**

続・羅臼町の地名について

**別海町郷土資料館**

野付半島鳥類生息現況調査報告書

別海町郷土資料館だより No.117～128

**標茶町郷土館**

標茶町郷土館報告 第21号

**厚岸町海事記念館**

厚岸海事記念館通信 No.11～13

**北海道教育大学釧路校**

北海道教育大学釧路校 六十年史

**釧路市博物館**

特別展 炭鉱の暮らし・マチの記憶

**えりも町郷土資料館**

平成20年度 えりも町郷土資料館ほろいずみ・

えりも町漁業振興センター館水産の館活動報告書

えりも研究 第6号

**平取町立二風谷アイヌ文化博物館**

2007年度 平取町立二風谷アイヌ文化博物館  
年報

**沙流川歴史館**

沙流川歴史館年報 第10号

沙流川歴史館だより No.33～35

**日高山脈館**

日高山脈館運営事業報告書 第6号

**むかわ町立穂別博物館**

むかわ町立穂別博物館報 第25号

むかわ町立穂別博物館研究報告 No.24

**厚真町教育委員会**

厚幌1遺跡(1)・幌内7遺跡(1)

**いしかり砂丘の風資料館**

エスチュアリ No.35～38

**恵庭市郷土資料館**

恵庭市郷土資料館年報 第15号

**苫小牧市博物館**

苫小牧市博物館報 第6号

苫小牧市博物館だより No.58

**有島記念館**

有島三兄弟それぞれの青春

有島記念館 第9号

**小樽市総合博物館**

小樽市総合博物館紀要 第23号

**八雲町教育委員会**

山越5遺跡

山越2遺跡

旭ヶ丘遺跡

浜松3遺跡

春日2遺跡

栄浜2・3遺跡

オクツナイ2遺跡

浜松2遺跡II

浜松1遺跡

栄浜2・栄浜3遺跡発掘調査報告書II

浜中1遺跡発掘調査報告書

**森町教育委員会**

町内遺跡発掘調査事業報告書II

**厚沢部町**

史跡松前氏城跡 福山城跡 館城跡 館城跡V

**上ノ国町教育委員会**

史跡 上乃国館跡II

**市立函館博物館**

市立函館博物館研究紀要 第19号

市立函館博物館研究紀要 第20号

みなと・HAKODADIハイカラ展

SARANIP No.48

**函館教育委員会**

函館市 白尻小学校遺跡・豊崎C・D・F・O遺跡

函館市 豊崎B遺跡・豊崎P遺跡

**北海道立函館美術館**

トンちゃんアート展 ハコビでBOO !!

三箇三郎の世界

牧島如鳩

金子卓義の書

**星の降る百年記念館**

平成20年度版 年報

**陸別町教育委員会**

天文台だより Vol.44

**足寄動物化石博物館**

博物館だより No.98～111

**上士幌町ひがし大雪博物館**

上士幌町ひがし大雪博物館研究報告 第31号

**神田日勝記念館**

第16回馬耕忌 対談集 第6回日勝祭

神田日勝記念館だより 26

画室 Vol.34・35

**帯広百年記念館**

帯広百年記念館紀要 第27号

とち戦後・昭和の記録写真集

**帯広大谷短期大学**

帯広大谷短期大学紀要 第46号

Search! '2009,

**北海道馬頭観音研究会**

後志の馬頭さん

**大津・十勝川学会**

大津十勝川研究 第7号

**君 尹彦氏文書調査団**

雪解け 創刊号

**浦幌ヒグマ調査会**

浦幌クマ便りvol.10、no.2 vol.11、no.1

浦幌ヒグマ調査会10周年記念誌

**浦幌野鳥倶楽部**

浦幌鳥類目録

**浦幌文化協会**

創立40周年記念 文化のあゆみ

**浦幌町立浦幌中学校**

平成20年度 職業体験学習報告書

【青森県】

**青森県立郷土館**

青森県立郷土館報 平成21年度版

**青森県教育委員会**

特別史跡三内丸山遺跡年報 12  
三内丸山遺跡 35  
三内丸山通信 第48号

**【岩手県】**

**一関市博物館**

一関市博物館研究報告 第12号  
一関藩の戊辰戦争  
静謐なる世界へようこそ  
民芸の美 菅原清蔵コレクション2  
中世荘園骨寺村

**岩手県立博物館**

平成20年度 岩手県立博物館年報  
岩手県立博物館研究報告 第26号  
岩手県立博物館だより No.121~125

**北上市立博物館**

北上と日本のセミ・せみ・蟬

**宮沢賢治記念館**

宮沢賢治記念館通信 第101・102号  
平成20年度 宮沢賢治記念館年報

**【宮城県】**

**仙台市富沢遺跡保存館**

特別企画展 漆の考古学  
地底の森ミュージアム縄文の森広場年報 2009  
地底の森ミュージアム縄文の森広場研究報告 2008

**【山形県】**

**山形県立うきたむ風土記の丘考古学資料館**

2008 年報  
じょうもん天地人ーやまがた前期縄文文化の考古学ー  
うきたむ 第32・33号

**【新潟県】**

**十日町市教育委員会**

縄文人の道具箱 野首遺跡

**新潟県立歴史博物館**

新潟県立歴史博物館研究紀要 第10号

**【埼玉県】**

**春日部市郷土資料館**

かすかべ地形探検

**さいたま市立浦和博物館**

あかんさんす 第97号

**【茨城県】**

**上高津貝塚ふるさと歴史の広場**

上高津貝塚ふるさと歴史の広場年報 第14号  
第14回企画展 よみがえる古代の信太郎

**【千葉県】**

**国立歴史民俗博物館**

百鬼夜行の世界  
縄文はいつから !?

**市立市川考古博物館**

市立市川考古博物館報 第36号

**千葉県立中央博物館**

千葉県立中央博物館研究報告 人文科学  
第11巻 第1号

**千葉大学文学部考古学研究室**

伊茶仁ふ化場第1遺跡 第5次発掘調査概報

**城西国際大学物質文化研究センター**

物質文化研究 第6号

**【東京都】**

**東京家政学院生活文化博物館**

東京家政学院生活文化博物館年報 第19号  
ハートフル・ミュージアムー思い出のひとつー

**東京大学総合博物館**

東京大学総合研究博物館ニュース 第36~38号

**江戸東京博物館**

江戸東京博物館NEWS vol.66~68

**豊島区立郷土資料館**

一粒入魂!  
生活と文化 研究紀要 第18号  
豊島区地域地図 第7集 鉤<近世(村絵図II)編>  
ときわ荘のヒーローたち~マンガにかけた青春~  
かたりべ No.92・93

**明治大学学芸員養成課程**

明治大学学芸員養成課程年報 24  
明治大学学芸員養成課程年報 25  
明治大学学芸員養成課程紀要 20  
明治大学学芸員養成課程紀要 21

**駿台史学会**

駿台史学 第136~139号

**立正大学史学会**

立正史學 第105・106号

**法政大学史学会**

法政史学 第71・72号

**法政大学国際日本学研究所**

国際日本学 第6号

国際日本学 第7号

中国人の日本研究－相互理解のための思索と実践－

HOSEI I.J.S.No.10・11

**青山学院大学文学科研究室**

青山史 第27号

**國學院大學考古学資料館**

國學院大學考古学資料館紀要 第26輯

**國學院大學研究開発推進機構**

國學院大學研究開発推進機構ニュースVol.3No.1

まつりのそなえ 御食たてまつるもの

伝統文化のモノと心 No.3

**国際基督教大学博物館・湯浅八郎記念館**

湯浅八郎記念館年報 No.24 2005-2006 No.25 2006-2007

**お茶の水大学学芸委員課程**

博物館実習報告 第25号

**出光美術館**

出光美術館報 第146～149号

**世田谷区立郷土資料館**

荻泉翁コレクション－藝に遊ぶ－

世田谷叢書 第四集 宇津木家書簡集（一）

資料館だより No.51・52

**板橋区立郷土資料館**

板橋区立郷土資料館紀要 第17号

**文化環境研究所**

Cultivate No.34・35

文環研レポート第29号

**(財)地域創造**

平成20年度 ステージラボアートミュージアム

ラボ事業報告書

これからの公立美術館のあり方についての調査・研究報告書

**【神奈川県】**

**川崎市市民ミュージアム**

川崎市市民ミュージアム紀要 第21集

川崎市市民ミュージアム紀要 第22集

**横浜市歴史博物館**

横浜市歴史博物館資料目録 第16集

横浜市歴史博物館資料目録 第17集

横浜市歴史博物館調査研究報告 第4号

横浜市歴史博物館紀要 第12号

横浜市歴史博物館紀要 第13号

横浜市歴史博物館ニュース No.28

ヒトが移るモノが動く

昭和30年－40年代の旅

鶴見合戦

江戸時代のよこはま－青葉の村々と矢倉沢住還－

古代のムラの神・仏

お願い！かみさま・ほとけさま

縄文文化円熟

黒船・開国・社会騒乱

海賊－宝町・戦国時代の東京湾と横浜－

**平塚市博物館**

平塚市博物館年報 No.32

自然と文化 No.32

**神奈川大学日本常民研究所**

2009年度 神奈川大学日本常民研究所

民具マンスリー 第42巻1～10号

**【長野県】**

**飯田市美術博物館**

飯田市美術博物館・飯田市上郷考古博物館年報

第18号

飯田市美術博物館研究紀要 第19号

伊那谷自然史論集 vol.10

**郷土出版社**

帯広・十勝の歴史

**【富山県】**

**氷見市立博物館**

氷見市立博物館年報 第27号

中村屋文書 その八

特別展 から・あぶ・ほとけ－島が映す地域の歴史－

特別展 衣の記憶

**富山市日本海文化財研究所**

富山市日本海文化財研究所報 第42・43号

富山市日本海文化財研究所紀要 第22号

日本海文化研究所公開講座平成20年度記録集

祭りと信仰からみた日本海文化II

**小矢部市教育委員会**

桜町遺跡発掘調査報告書「縄文時代総括編」「縄文土器・石器編Ⅱ」,「木製品・繊維製品・植物編」

**魚津市教育委員会**

魚津市立博物館紀要 第7号

【滋賀県】

**滋賀県立琵琶湖博物館**

展示交流って何?琵琶湖博物館展示交流13年の歩み

博物館ボランティアとそのコーディネーターの役割

【京都府】

**同志社大学歴史資料館**

同志社大学歴史資料館報 第12号

**古代学協会**

土車 第117・118号

【三重県】

**皇學館大學神道博物館**

皇學館大學神道博物館館報第13~20号

【奈良県】

**(財)水平社博物館**

(財)水平社博物館研究紀要 第11号

ルシファー 第12号

**天理大学附属天理参考館**

天理参考館報 第22号

**(独)奈良文化財研究所**

奈良文化財研究所概要 2009

奈良文化財研究所紀要 2009

遺跡情報交換標準の研究 第2版

埋蔵文化財ニュース 134~137

**奈良大学文学部文化財学科**

文化財学報 第27集

**元興寺文化研究所**

元興寺研究 No.90

【大阪府】

**大阪大谷大学博物館**

クナ・ポーB-1号窯跡

博物館だより No.105~106

**大阪大谷大学**

大阪大谷大学文化財研究 第9号

志学台考古 第9号

**関西大学博物館**

関西大学博物館紀要 第15号

北大阪ミュージアム・ネットワークの構築事業実施報告書

北大阪ミュージアム・ネットワーク~地域産業と文化遺産~

阡陵 No.58・59

**大阪市立自然史博物館**

大阪市立自然史博物館報 第33号

【兵庫県】

**姫路市立城郭研究室**

姫路市立城郭研究室年報 Vol.19

**(財)竹中大工道具館**

竹中大工道具館だより No.21・22

【広島県】

**熊谷製作所**

抜萃のつゞり その69

【山口県】

**下関市立考古博物館**

研究紀要 第13号

下関市立考古博物館年報 第14号

木の文化Ⅱ -古墳時代の木器-

あやらぎ No.20

【岡山県】

**小西猛朗**

中島遺跡で出土した炭化穀粒

東北アジアにおける大麦の伝播-遺伝学の立場から-  
大麦と小麦の炭化粒について

中尾城跡から出土した炭化穀粒

鹿田遺跡第5次調査土壌15から出土した

炭化穀粒について

【福岡県】

**福岡市埋蔵文化財センター**

福岡市埋蔵文化財センター年報 第27号

## IV. 資料の提供

|     |  |
|-----|--|
| 貸出先 | (株)郷土出版社   |
| 資料名 | 十勝太古川遺跡第8号住居跡ファイゴの羽口の出土状況・十勝太河岸段丘遺跡（空撮）・十勝太若月遺跡第16号住居跡全景・十勝太古川遺跡第16号住居跡オオムギの出土状況・民間義捐物資第1号を携えてきたルロイ・ハス夫婦写真 |
| 目的  | 『図説 帯広・十勝の歴史』に掲載   |
| 期間  | 平成21年7月10日～平成21年8月31日  |

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 貸出先 | 沖縄県南城市教育委員会          |
| 資料名 | 国史跡オタフンベチャン跡（空撮）写真   |
| 目的  | 『南城市史 総合版（通史）』に掲載    |
| 期間  | 平成22年2月9日～平成22年3月31日 |

|     |                          |
|-----|--------------------------|
| 貸出先 | (株)同成社                   |
| 資料名 | 平和遺跡出土 ホタテ貝圧痕が残る縄文土器底部写真 |
| 目的  | 『世界遺産 縄文遺跡』に掲載           |
| 期間  | 平成22年2月23日               |

|     |                      |
|-----|----------------------|
| 貸出先 | NHK札幌放送局 報道番組        |
| 資料名 | 浦幌町百年史、村上ハルエ氏寄贈写真2枚  |
| 目的  | テレビ番組『小さな旅』に使用       |
| 期間  | 平成22年3月11日～平成22年4月5日 |

|     |                               |
|-----|-------------------------------|
| 貸出先 | 北海道大学工学部建築史意匠学研究室             |
| 資料名 | 棟札4点・浦幌公民館・浦幌小学校屋舎の写真         |
| 目的  | 卒業論文作成のため『北海道における棟札に関する研究』に掲載 |
| 期間  | 平成22年3月26日～平成22年3月31日         |

## V. 博物館の事業

| 分類          | 事業名        | 事業内容                               | 場所         | 期日         | 備考                     |
|-------------|------------|------------------------------------|------------|------------|------------------------|
| 収集          | 旧資料の登録化    | 郷土博物館からの資料引継ぎ                      | 博物館        | 通年         |                        |
|             | 新資料の登録化    | 新資料・寄贈資料の整理登録化                     | 博物館        | 通年         | 寄贈 326点<br>収集 50点      |
|             | 図書資料の収集    | 図書資料の収集                            | 博物館        | 通年         | 受贈 272点                |
|             | 新聞資料の収集    | 新聞資料の整理                            | 博物館        | 通年         | カード化                   |
| 保存          | 昆虫標本の作成・保存 | チョウの採集・標本化                         | 博物館        | 夏季         | 採集 85                  |
| 展示          | 巡回展        | 帯広百年記念館移動展「音の博物館：なつかしのレコード展」       | 養護老人ホーム    | 10/21      | 帯広百年記念館ボランティア          |
|             |            | 帯広百年記念館運営連絡協議会移動展「書道展～墨の色・文字の形～」   | 博物館        | 10/31～11/8 | 52人 記載のみ               |
|             | 小企画展       | 収蔵資料展（端午の節句展）                      | 博物館        | 4/16～5/5   | 撮影会 46人                |
|             |            | 開町110年記念写真展                        | 博物館        | 5/27～6/12  | 159人 記載のみ              |
|             |            | 真夏の残像・・・あの夏の熱き思い・・・戦争体験を伝える        | 博物館        | 8/6～19     | 137人 記載のみ              |
|             |            | レコードジャケット展                         | 博物館        | 10/9～22    | 106人 記載のみ              |
|             |            | 2010年賀状展                           | 博物館        | 1/16～1/26  | 80人 記載のみ               |
| 収蔵資料展（雛人形展） | 博物館        | 2/19～3/3                           | 撮影会 74人    |            |                        |
| 調査          | 古文書解読      | 教育雑件（大正15年・昭和元年）                   | 博物館        | 通年         | 博物館ボランティア              |
|             | 浦幌野生動物調査   |                                    |            | 通年         |                        |
| 教育普及        | 博物館講座の開設   | ニードル・フェルト教室                        | 博物館        | 7/14       | 講師：今村恭子<br>11人参加       |
|             |            | 夏休み木工教室                            | 十勝森づくりセンター | 7/27       | 十勝森づくりC職員<br>46人参加     |
|             |            | わが町魅力再発見移動フォーラム<br>K/T境界層・旧浦幌炭砒見学会 | 川流布留真      | 8/9        | 講師：澤村 寛<br>47人参加       |
|             |            | デコパージュ教室                           | 博物館        | 12/9       | 講師：梶原美那子<br>8人参加       |
|             |            | 化石のレプリカづくり教室                       | 博物館        | 1/12       | 講師：澤村 寛<br>29人参加       |
|             |            | ヒグマの学校                             |            | 3/6        | 講師：伊藤哲治ほか<br>4人 参加者13人 |

| 分類     | 事業名                | 事業内容                     | 場所       | 期日           | 備考               |
|--------|--------------------|--------------------------|----------|--------------|------------------|
| 教育普及   | 移動博物館教室の開設         | 移動厳寒自然教室（厳寒期の小動物達の様子を探る） | 豊北       | 2/6          | 講師：武藤満雄<br>36人参加 |
|        | レファレンス業務           |                          | 博物館      | 通年           |                  |
|        | 「博物館年報」の発行         | 第10号・A4判・57P・500部        | 博物館      | 3月           |                  |
|        | 「博物館紀要」の発行         | 第10号・A4判・53P・500部        | 博物館      | 3月           |                  |
| 研修等    | 博物館協議会の開催          | 館長の諮問機関・年2回              | 教育文化センター | 5/29<br>3/18 |                  |
|        | 帯広百年記念館運営連絡協議会総会   | 帯広百年記念館運営協議のための連絡協議体     | 帯広百年記念館  | 6/2          | 小路谷館長出席          |
|        | 道東3管内博物館施設等連絡協議会総会 |                          | 釧路市立博物館  | 5/27         | 小路谷館長出席          |
|        | 博物館交流推進会議          |                          | 釧路市      | 10/17～18     | 小路谷館長出席          |
|        | 北海道博物館協会研修会        |                          | 小樽市      | 10/29～30     | 小路谷館長出席          |
|        | 文書等保存利用機関団体等職員研修会  |                          | 札幌市      | 12/1         | 小路谷館長出席          |
| 研究者等受入 | 職場体験学習             | 新聞資料カード化・収蔵資料クリーニングほか    | 博物館      | 6/9          | 浦幌高等学校 1名        |
|        | 職場体験学習             | 新聞資料カード化・収蔵資料クリーニングほか    | 博物館      | 10/27        | 浦幌中学校 1名         |
|        | 北海道大学建築史意匠学研究室     | 棟札の研究                    | 博物館      | 9/18         | 山崎友恵<br>寺西宣泰     |
|        | 札幌大学大学院文学研究科文化学専攻  | 土器の研究                    | 博物館      | 9/18～19      | 鈴木将太             |
|        | 職場訪問               |                          | 博物館      | 11/5         | 浦幌中学校 2名         |
|        | 日本大学               | ヒグマ研究・エゾシカ研究             | 博物館      | 随時           |                  |

V. 博物館の事業



PL.1 開町110年記念写真展  
(H21.5.27~6.12)



PL.2 開町110年記念写真展  
(H21.5.27~6.12)



PL.3 浦幌高校職業体験  
(H21.6.9)



PL.4 浦幌高校職業体験  
(H21.6.9)

PL.5 ニードル・フェルト教室  
(H21.7.14)





PL.6 恐竜絶滅の謎を探る  
K/T境界層見学会  
(H21.8.9)

PL.7 恐竜絶滅の謎を探る  
K/T境界層見学会  
(H21.8.9)





PL.8 小企画展  
真夏の残像…あの夏の熱き想い  
…戦争体験を伝える  
(H21.8.6~19)

PL.9 レコードジャケット展  
(H21.10.9~22)



PL.10 浦幌中学校職業体験  
(H21.10.27)

V. 博物館の事業



PL.11 移動展  
「墨の色・文字の形」  
(H21.10.31~11.8)

PL.12 デコパージュ教室  
(H21.12.9)



PL.13 化石のレプリカづくり  
教室  
(H22.1.12)



PL.14 ひなまつり撮影会  
(H22.3.3)

PL.15 ひなまつり撮影会  
(H22.3.3)





PL.16 ヒグマの学校  
(H22.3.6)

PL.17 ヒグマの学校  
(H22.3.6)



## VI. レファレンス業務

2009年度において、照会などのあった内容は概ね次のようなものである。

- 国史跡オタフンベチャシ跡について
- 浦幌炭砒について
- 浦幌町の野鳥、動物、植物について
- 浦幌森林公園にいる野鳥について
- 大相撲、地方相撲の資料について
- K-T境界について
- 十勝太若月遺跡報告書について
- 豊北トーチカについて
- 浦幌町平和遺跡 垂飾（軟玉ひすい）について
- 十勝川河口の動物について
- 原生花園の植物について
- ヒグマの写真について
- 上浦幌の開拓当時の写真について
- 稲穂住吉神社と加賀団体について

## VII. 博物館ボランティア

博物館活動の一環として、博物館ボランティアによる活動がある。博物館ボランティアの業務は、①資料整理等の補助業務 ②新聞資料等の整理 ③博物館図書の登録と整理 ④簡易な展示解説 ⑤調査研究活動の補助 ⑥その他館長が適当と認めた業務等が想定されるが、本館では①～③業務を主に行い、他に古文書解説も行われている。現在の登録者は6名であるが、日常的に活動している者は2名である。

なお、古文書解説の成果は、「浦幌町立博物館紀要」第10号に掲載した。

### ●博物館ボランティア活動日数

|     | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 実人数 | 20 | 6  | 10 | 17 | 9  | 8  | 1   | 7   | 2   | 0  | 13 | 10 | 103 |
| 延人数 | 3  | 2  | 2  | 3  | 3  | 3  | 1   | 3   | 2   | 0  | 2  | 2  | 26  |

### ●博物館ボランティア登録者

|     |       |     |       |    |       |    |       |
|-----|-------|-----|-------|----|-------|----|-------|
| 北町  | 春日 基江 | 住吉町 | 三浦 直春 | 栄町 | 橋本 友子 | 宝町 | 佐藤 明美 |
| 十勝太 | 市川 藤子 | 万年  | 坂下 禮子 |    |       |    |       |

## VIII. 博物館日誌（抄）

### 平成21年

- 4月1日(水) 町辞令交付式。4月定例管理職会議。教育委員会辞令交付式。臨時教育委員会。
- 4月3日(金) 臨時校長・教頭会議。
- 4月7日(火) 小路谷館長・荒川宝生の志賀秀章氏宅に化石収集。
- 4月16日(木) 博物館収蔵展「端午の節句」開催（～5月5日）。
- 4月17日(金) 高橋悦子氏来館。
- 4月23日(木) 第4回定例教育委員会
- 4月23日(木) 定例校長会議。定例教頭会議。
- 4月27日(月) 日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 4月28日(火) 東京農工大学院連合農学研究科小林喬子氏来館。
- 4月30日(木) 浦幌ヒグマ調査会事務局長佐藤喜和氏来館。日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 5月1日(金) 5月定例管理職会議。
- 5月5日(火) 端午の節句写真撮影会。
- 5月11日(月) 日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 5月13日(水) 日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 5月14日(木) 日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 5月18日(木) 日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 5月19日(木) 平成18年度博物館学芸員実習生佐々木ゆかり氏来館。
- 5月20日(水) 第5回定例教育委員会。
- 5月22日(金) 定例校長会議。日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 5月27日(水) 開町110年記念写真展開催（～6月12日）。定例教頭会議。日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。小路谷館長、道東3館内博物館施設等連絡協議会出席。
- 5月29日(金) 浦幌町博物館協議会開催（図書館協議会と合同開催）。
- 6月2日(火) 小路谷館長、帯広百年記念館運営連絡協議会総会に出席。日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 6月2日(火) 6月定例管理職会議。
- 6月4日(木) 日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 6月5日(金) 東京農工大学院連合農学研究科小林喬子氏来館。
- 6月9日(火) 浦幌高等学校中村瑞穂氏職業体験学習。
- 6月10日(水) 北海道教育委員会田才雅彦氏、統太A調査のため来館。（～11日）
- 6月12日(金) 釧路市分岐老人クラブ団体見学。
- 6月18日(木) 定例校長会議。
- 6月19日(金) 第6回定例教育委員会。
- 6月26日(金) 日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 6月30日(月) 定例教頭会議。
- 7月1日(水) 幕別町立忠類小学校4年生、団体見学。
- 7月2日(木) 7月定例管理職会議。
- 7月3日(金) 浦幌ヒグマ調査会事務局長佐藤喜和氏来館。
- 7月13日(月) 様似町アイヌ生活相談員大野徹人氏来館。

VIII. 博物館日誌（抄）

- 7月14日(火) 博物館講座「ニードル・フェルト教室」開催。
- 7月15日(水) 八戸市縄文学習館副参事宇部則保氏、十勝太若月遺跡の調査ため来館。
- 7月17日(水) 定例校長会議。
- 7月21日(火) 定例教頭会議。
- 7月27日(月) 夏休み子ども木工教室開催。
- 7月28日(火) 第7回定例教育委員会。
- 8月3日(月) 8月定例管理職会議。
- 8月6日(木) 小企画展 真夏の残像・・・あの夏の熱き想い「戦争体験を伝える」開催（～19日）。東京農工大学院連合農学研究科小林喬子氏来館。日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次・本間渚氏来館。
- 8月9日(日) わが町魅力再発見移動フォーラムK/T境界層見学開催。NPO法人十勝文化会議・郷土史研究部、十勝圏複合事務組合、団体見学。
- 8月18日(火) 日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 8月19日(水) 浦幌ヒグマ調査会事務局長佐藤喜和氏、東京農工大学院連合農学研究科 小林喬子氏来館。
- 8月20日(木) 定例校長会議。東部十勝民生員児童委員、団体見学。
- 8月21日(金) 第8回定例教育委員会。
- 8月25日(火) 定例教頭会議
- 8月26日(水) 愛知県刈谷市加藤宗男氏、アイヌ関連資料調査のため来館。日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 8月28日(金) 日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 9月1日(火) 9月定例管理職会議。
- 9月18日(金) 北海道大学建築史意匠学研究室山崎友恵氏・寺西宣泰氏、棟札研究のため来館。札幌大学大学院研究科文化学専攻鈴木将太氏、土器研究のため来館（～20日）。
- 9月24日(木) 定例校長会議。
- 9月28日(月) 第9回定例教育委員会。明治大学商学部商学科2年佐藤奈々子氏、西川純平氏、西富友輝氏ほか2名来館。
- 9月30日(水) 定例教頭会議。
- 10月1日(木) 帯広市保健福祉部健康推進課主任永田敏氏来館。
- 10月2日(金) 10月定例管理職会議。
- 10月6日(火) 養護教員初任者研修、団体見学。
- 10月9日(金) レコードジャケット展開催（～22日）。
- 10月15日(木) 東京農工大学院連合農学研究科小林喬子氏来館。
- 10月17日(土) 小路谷館長、平成21年度博物館交流推進会議出席のため釧路市に出張（～18日）。
- 10月21日(水) 帯広百年記念館移動展「音の博物館なつかしのレコード」町養護老人ホームで開催。
- 10月26日(月) 定例校長会議。浦幌中学校2年生藤井真愛さん、職業体験打合せのため来館。
- 10月27日(火) 第10回定例教育委員会。定例教頭会議。浦幌中学校2年生藤井真愛さん、職業体験。
- 10月29日(木) 小路谷館長、北海道博物館協会研修会出席のため小樽市に出張（～30日）
- 10月30日(金) 帯広百年記念館北沢実・飯田恵子氏、移動展設営のため来館。
- 10月31日(土) 帯広百年記念館移動展「書道展～墨の色・文字の形～」(～11月8日)。
- 11月2日(月) 11月定例管理職会議。
- 11月5日(木) 浦幌中学校1年生佐藤優理・泉慶一郎君、職場訪問。
- 11月9日(月) 帯広百年記念館移動展「書道展～墨の色・文字の形～」資料搬出。帯広百年記念館長松井由孝・飯田恵子氏来館。
- 11月19日(木) 博物館講座「デコパージュ教室」講師梶原美那子氏、打合せのため来館。

- 11月25日(水) 定例校長会議。
- 11月26日(木) 第11回定例教育委員会。
- 11月29日(土) 博物館講座「むかしのくらし体験教室」開催。
- 12月1日(火) 11月定例教頭会議。小路谷館長、文書等保存利用機関・団体等職員研修会出席（札幌市）
- 12月2日(水) 12月定例管理職会議。
- 12月3日(木) 町内大山ミドリ氏、浦幌炭砒写真寄贈のため来館。
- 12月9日(水) 博物館講座「デコパージュ教室」開催。
- 12月11日(金) 小路谷館長「化石のレプリカ教室」打合せのため足寄動物化石博物館へ出張。
- 12月21日(月) 定例校長会議。
- 12月22日(火) 第12回定例教育委員会。定例教頭会議。
- 12月29日(火) 小路谷館長・荒川、野村アキ氏宅に資料収集。
- 12月30日(水) 町仕事納め式。教育委員会仕事納め式。

## 平成22年

---

- 1月6日(水) 町仕事始め式。教育委員会仕事始め式。
- 1月12日(火) 博物館講座「化石のレプリカづくり教室」開催。足寄動物化石博物館長澤村寛来館。
- 1月16日(火) 2010年賀状展（～26日）開催。
- 1月22日(金) 定例校長会議。
- 1月25日(月) 第1回定例教育委員会。
- 1月26日(火) 定例教頭会議。
- 2月2日(火) 2月定例管理職会議。
- 2月4日(日) 議会議員阿部優氏来館。
- 2月6日(土) 博物館講座「移動自然（厳寒）体験教室」開催。東十勝ロングトレイル活動協議会、団体見学。
- 2月8日(月) 浦幌ヒグマ調査会事務局長佐藤喜和氏来館。
- 2月18日(木) 小路谷館長・荒川、出口恵子氏宅に資料収集。
- 2月19日(金) 収蔵資料展「雛人形展」（～3月3日）。
- 2月22日(月) 定例校長会議。定例教頭会議。
- 2月24日(水) 第2回定例教育委員会。
- 2月25日(木) NHK札幌放送局ディレクター鍋島塑峰氏、写真借用で来館。浦幌幼稚園、団体見学。
- 3月2日(火) 3月定例管理職会議。
- 3月3日(水) 収蔵展「雛人形展」写真撮影会。日本大学ヒグマ研究グループ中村秀次氏来館。
- 3月4日(木) 日本大学ヒグマ研究グループ伊藤哲治・中村秀次・矢野晶子・小泉沙奈恵氏来館。
- 3月5日(金) 日本大学ヒグマ研究グループ伊藤哲治・中村秀次・矢野晶子・小泉沙奈恵氏来館（ヒグマの学校リハーサル）。
- 3月6日(土) 博物館講座「ヒグマの学校」開催。日本大学ヒグマ研究グループ伊藤哲治・中村秀次氏・矢野晶子・小泉沙奈恵氏来館。
- 3月11日(木) NHK札幌放送局ディレクター鍋島塑峰氏、(株)NHKビジネスクリエイト池谷正氏、4月3日放送「小さな旅」使用写真借用のため来館。
- 3月14日(日) ボランティア心友愛会、団体見学。
- 3月17日(水) 定例校長会議。定例教頭会議。
- 3月18日(木) 浦幌町博物館協議会開催（図書館協議会と合同開催）
- 3月25日(木) 第3回定例教育委員会。
- 3月26日(金) 小路谷館長・荒川、吉野幼稚園にひな人形収集。

## IX. 博物館の利用状況

### (1) 博物館入館者の推移

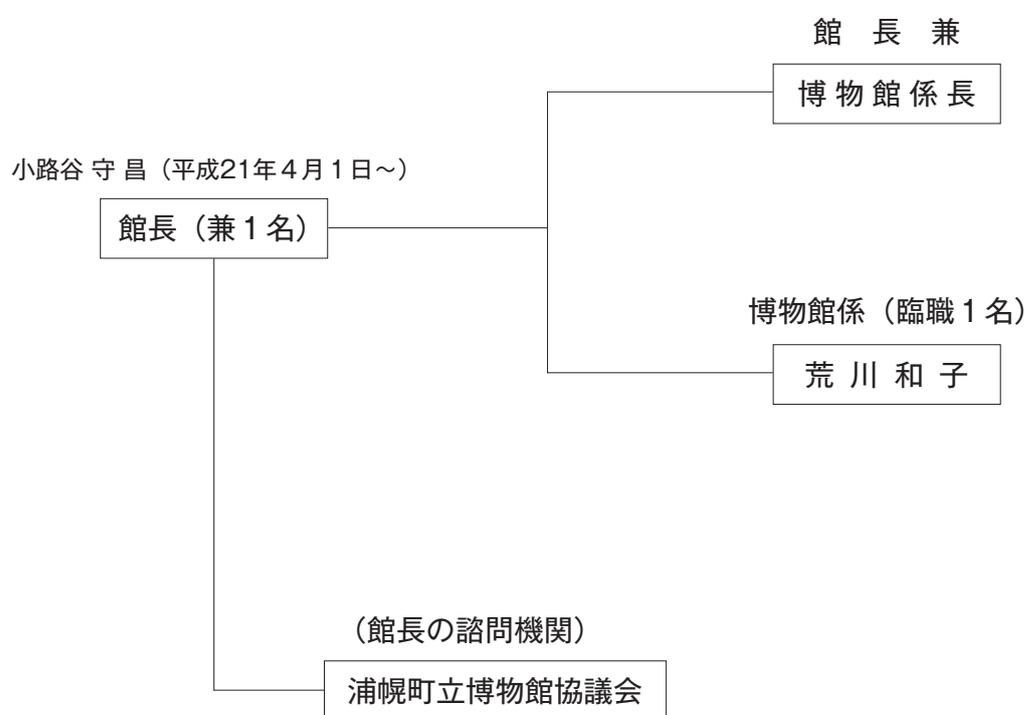
(平成22年 3月31日現在)

| 月  | 平成16年度 |        | 平成17年度 |        | 平成18年度 |        | 平成19年度 |        | 平成20年度 |        | 平成21年度 |        |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|    | 開館日数   | 入館者数   |
| 4  | 25     | 566    | 25     | 667    | 25     | 990    | 25     | 630    | 25     | 725    | 25     | 573    |
| 5  | 24     | 649    | 23     | 498    | 24     | 912    | 25     | 561    | 25     | 602    | 25     | 647    |
| 6  | 26     | 661    | 26     | 908    | 26     | 541    | 26     | 785    | 25     | 843    | 25     | 739    |
| 7  | 26     | 971    | 27     | 1,000  | 25     | 762    | 26     | 857    | 27     | 817    | 27     | 616    |
| 8  | 26     | 1,024  | 26     | 1,167  | 27     | 883    | 27     | 1,115  | 27     | 1,022  | 26     | 1,058  |
| 9  | 25     | 917    | 25     | 812    | 24     | 611    | 26     | 881    | 24     | 588    | 24     | 707    |
| 10 | 27     | 768    | 26     | 867    | 26     | 775    | 26     | 639    | 27     | 589    | 27     | 967    |
| 11 | 23     | 691    | 24     | 1,342  | 25     | 474    | 24     | 525    | 25     | 764    | 24     | 599    |
| 12 | 25     | 556    | 26     | 655    | 24     | 372    | 25     | 583    | 24     | 652    | 25     | 613    |
| 1  | 22     | 531    | 22     | 522    | 22     | 428    | 22     | 371    | 23     | 497    | 23     | 558    |
| 2  | 23     | 623    | 23     | 743    | 24     | 477    | 25     | 476    | 23     | 300    | 23     | 423    |
| 3  | 27     | 932    | 26     | 1,018  | 26     | 812    | 25     | 662    | 25     | 752    | 25     | 490    |
| 小計 | 299    | 8,889  | 299    | 10,199 | 298    | 8,037  | 302    | 8,085  | 300    | 8,151  | 299    | 7,990  |
| 累計 | 1,578  | 53,431 | 1,877  | 63,630 | 2,175  | 71,667 | 2,477  | 79,752 | 2,777  | 87,903 | 2,777  | 95,893 |

### (2) 団体入館者（事前に連絡のあったもの）

|        |                    |     |
|--------|--------------------|-----|
| 5月1日   | 浦幌幼稚園              | 38人 |
| 6月12日  | 釧路市分岐老人クラブ         | 32人 |
| 7月1日   | 幕別町忠類小学校           | 10人 |
| 8月9日   | NPO法人十勝文化会議・郷土史研究部 | 40人 |
| 8月9日   | 十勝圏複合事務組合          | 42人 |
| 10月6日  | 養護教員初任者研修          | 5人  |
| 10月29日 | 帯広市保健福祉部健康推進課      | 70人 |
| 2月6日   | 東十勝ロングトレイル活動協議会    | 26人 |
| 2月25日  | 浦幌幼稚園              | 54人 |
| 3月14日  | ボランティア心友愛会         | 13人 |

## X. 博物館の組織



| 職名  | 氏名   | 住所    | 備考 |
|-----|------|-------|----|
| 会長  | 橋本友子 | 栄町2区  |    |
| 副会長 | 有坂一子 | 住吉町2区 |    |
| 委員  | 高橋康伸 | 住吉町1区 |    |
| 〃   | 武田悟  | 緑町    |    |
| 〃   | 山口聰史 | 新町    |    |
| 〃   | 円子紳一 | 北栄2区  |    |
| 〃   | 春日基江 | 北町2区  |    |
| 〃   | 市川藤子 | 十勝太   |    |

(任期 平成23年12月18日まで)

# XI. 博物館活動のマスコミ報道

浦幌博物館

## 鎧兜や五月人形ずらり

### 戦国から江戸時代のものも

【浦幌】町立博物館の「端午の節句収蔵展」が教育文化センター1階ロビーで始まり、鎧兜（よろいかぶと）や五月人形が訪れた町民の目を引いている。

中央に展示されている鎧兜1組は、1968年に町民が寄付。戦国時代から江戸時代に実際に使われたものとみられている。ほかに、五月人形の段飾りやこいのぼり、80年ごろのアニメキヤラクターのメロンコなど、おもちゃ類も展示されている。



戦国・江戸時代の鎧兜などが並ぶ展示会場

5月5日まで。午前10時～午後5時。最終日は午後1時から同5時までの間、五月人形と一緒に写真を撮ることができ、同館が参加者に1枚をプレゼントする。

今月29日と5月3日は休館。撮影会の問い合わせは同博物館（015・576・2009）へ。（大笹健郎）

「十勝毎日新聞」 2009年4月18日

## 農業被害対策実施へ

### 浦幌ヒグマ調査会 事業計画を決定



「浦幌ヒグマ調査会」の総会であいさつする佐藤代表

【浦幌】設立10周年を迎えた「浦幌ヒグマ調査会」（佐藤勇雄代表）の今年度総会が、研究を行う日本大学の学生らと、教育長や小路谷守昌町立博物館

が集まり、今年度も各種生態調査や農業被害対策に取り組みを決めた。

ヒグマと人間の共生を目指して1998年から町内で調査を続ける同大生物資源科学部の佐藤喜和氏（森林動物学研究室）と学生を中心に、生態調査や普及啓発活動を行っている。会員数は町民ら103人。

総会には調査で来た館長ら19人が出席。佐藤代表が「今年も事故なく研究を」と呼び掛け、久門教育長が「浦幌で調査したいというごを歓迎します」とあいさつ。今年度事業計画などを決めた。

今年度は11月まで、体毛サンプルによる家系解析など10調査を計画。捕獲作戦も近く開始する。農業被害対策では、農家向けアンケートとマニュアル作成に取り組み、日本クマネットワーク協力のモデル事業として電気柵設置も行う。10周年事業として、町立博物館紀要09年9号に活動報告を掲載したほか、記念誌別冊を作製する。

（小林祐巳）

「十勝毎日新聞」 2009年5月7日

### 浦幌町立博物館 研究紀要を発行

【浦幌】町立博物館研究紀要第9号がこのほど発行された。写真。1972年から96年まで発行された郷土博物館報告から続くもので、通算では54冊目。



巻頭には、同館所蔵で2008年度に採集されたチョウの標本リストを掲載。後藤秀彦氏の「藩政期におけるトカチ(十勝太)とラホツナイ(大津)―絵図などから見た両河口集落の一断面―」は、江戸時代に描かれた絵の様子から、十勝太、大津両地区の発展について考察した。

このほか、浦幌ヒグマ調査

「十勝毎日新聞」 2009年5月20日

会が10年間の活動をまとめた「浦幌地域におけるヒグマの生態と保全」、和歌山満氏の「数式で一般化する凸レンズの法則に関する例証」などの研究成果を掲載。三浦直春氏による、明治時代の生剛村村有地に関する書類の解説もある。

A4判、44頁。問い合わせは同館(015・576・2009)へ。(大笹健郎)

## 炭鉱閉山や大地震… 110年の歴史を 伝える写真展

浦幌・らぼろ21

【浦幌】町の開町110年を記念する写真展(町、町立博物館主催)が、町教育文化センターらぼろ21の1階ロビーで開かれている。

現在、浦幌町となっている地域では約8000年前から人の生活が確認され、明治の開拓以前にも先住者のアイヌ民族をはじめ、交易などのため本州以南出身の人々も暮らしていた。町は1900年に前身の生剛村に戸長役場が置かれたのを一つの区切りに「開町」の年と定めた。

展示では、「ト

カチ」の文字が最初に記録された1635年(寛永12年)以降を詳細な年表に。江戸時代、十勝川河口部を訪れた人々によって記録された風景の絵や地図をはじめ、街の姿や人々の暮らしを記録した写真、新聞記事などのパネル110点を展示している。

浦幌炭鉱閉山で地域が消滅した炭山地区の姿や、195



地域の歴史を伝える写真展会場

2年の十勝沖地震の大被害の様子、復興時の人々の明るい笑顔が印象的だ。

会場を訪れた町内の増子ミチさん(65)は「60年前の小学校の写真に幼いころの友人・姉妹が写っているなど、感慨深い写真が多い」と話した。6月12日まで。午前10時～午後5時。同5日午後1時半から中央公民館で、開町110年の記念式典が行われる。(大笹健郎)

「十勝毎日新聞」 2009年5月31日

【浦幌】町は12日ま  
で、町教育文化センタ  
ーで開町110年を記  
念した写真展を開いて  
いる。明治、大正、昭  
和の街並みや、暮らし  
の移り変わりが分か  
り、多くの町民が興味  
深そうに見ている。  
写真、資料約100  
点を展示した。幕末の  
探検家松浦武四郎の作  
成した地図のほか、町

写真でたどる  
浦幌の110年  
町が記念展  
のルーツに当たる生  
剛、愛年、十勝とい  
う3村が1900年(明



浦幌の姿をたどる写真  
に見入る来場者  
治33年)に開設した戸  
長役場、岐阜殖民合  
資会社が開設した岐阜  
農場などの写真が並  
ぶ。  
また、1916年(大  
正5年)の浦幌市街大  
火、太平洋戦争時に武  
運長久祈願で神社に向  
かう村民の列、戦後の  
馬市などの写真も、会  
場の年表と照らしなが  
ら見ると感慨深い。  
厳しい自然と闘い、  
時代を生き抜いた人々  
の思つかいを感じるこ  
とができる。  
入場無料。午前10時  
〜午後5時。

「北海道新聞」 2009年6月9日

### ■浦幌 羊毛でかわいいヒヨコ

羊毛を丸めたり、針で刺して毛を  
絡めて作る手芸「ニードルフェル  
ト」の教室(町立博物館、中央公民館主催)がこのほど、同博物館で開



かれた=写真。  
町内の主婦ら11人が参加。「f e  
l t w o r k Z E B R A」の今村  
恭子さん(帯広)を講師にヒヨコを  
制作した。染色した羊毛の玉や棒状  
にまとめたものを使用、細部に針を  
刺して形を整え、1時間半ほどでか  
わいらしい作品が出来上がった。

「十勝毎日新聞」 2009年7月21日





説明を聞きながら、興味深く地層を見学する参加者

雰囲気も味わった。札幌から家族で参加した男性は「大変面白かった。大昔に思いをはせ、さまざまな想像をかき立てられた」と話した。見学後は留真の森を散策し、五右衛門風呂を体験した。  
(小島裕充通信員)

## 恐竜絶滅の謎に迫る 国内唯一の地層見学

浦幌 町内外から47人参加

【浦幌】約6500万年前の恐竜絶滅の謎に迫る国内唯一の地層「K/T境界層」の見学会(町など主催)が9日、地層がある町内北部のモカワルツ川で開かれ、札幌、帯広など町内外から47人が参加した。地層は、中生代と新生代の境目に堆積し、地球表面に少ない元素

「北海道新聞」 2009年8月10日

がけから川底に続くK/T境界層と周辺地層を見る参加者



## 地球の歴史に思いはせ

浦幌・見学会に50人

小惑星衝突の痕跡「K/T境界層」

【浦幌】恐竜が絶滅した一因とされる6500万年前の小惑星衝突の痕跡「K/T境界層(町茂川流布)の見学会(町、町教委主催)がこのほど、町茂川流布の道有林で開かれ、約50人が地球の歴史に思いをはせた。昨年3月の浦幌中3年生のまちづくり提言で、境界層とそこに含まれるイリジウムの活用について提案があり、これを受けた2年目の取り組み。現地は道有林の奥で普段はゲートが閉まっており、貴重な機会として管内外から参加者があった。午前9時に町立博物館から2台のバスに乗り、同10時ごろ、現地に到着。案内役である足寄動物化石博物館の澤村寛館長から、地層について説明を受けた。境界層は、茂川流布川沿いのがけに3〜15メートルで黒く露出。今年は雨が多から川底まで続いているのが確認でき、参加者を喜ばせた。参加者の1人、上浦幌中学校の太田朋則校長は「実物を前にすると、その時代の出来事を感じられる。地元でもあり、教材として活用できないかを考えたい」と話していた。(大笹健郎)

「十勝毎日新聞」 2009年8月14日

たくさんのレコードジャケットが並ぶ  
展示会場



ジャケットを  
270枚展示  
浦幌町立博物館

【浦幌】町立博物館や町民所蔵のレコードジャケットの展示会が同博物館（町桜町、町教育文化センターらぼろ21

内）1階ロビーで開かれている。22日まで。

昭和中期からの歌謡曲、演歌、フォーク、民謡、アニメなどのレコードジャケット約270枚を展示。松山千春の「恋」や、かぐや姫の「神田川」などの名曲や、エマニエル君の「シティ・コネクション」、子門真人の「およげたいやきくん」などの話題作も。16日に死去した加藤和彦さんが所属したザ・フォーク・クルセダーズの「帰って来たヨッパライ」もあり、目を引いている。

展示は午前10時～午後5時。  
（大笹健郎）

「十勝毎日新聞」 2009年10月21日

浦幌 デコパージュに挑戦

町立博物館・中央公民館主催のデコパージュ教室が9日、町教育文化センターで開かれ、町民8人が装飾に挑戦した＝写真。

フラワーセラピストの梶原美那子さん(帯広)を講師に迎え、磨いたホタテ貝や石けんの表面に、色鮮やかな紙ナプキンを専用の接着剤で張り付けた。参加者は花や動物、クリスマスグッズ



などの絵柄で思い思いの作品を作り、互いに披露し合った。

「十勝毎日新聞」 2009年12月11日

デコパージュ教室

【浦幌】町立博物館・中央公民館主催のデコパージュ教室が、9日午後1時半から町教育文化センター2階学芸員室で開かれる。

講師は梶原美那子さん(フラワーセラピスト)。デコパージュは紙や布、写真に描かれた絵や模様を切り抜き、張って、物の表面を飾るアート。今回は貝や石けんケースの表面を飾る。

募集人数は10人(先着順)。参加料1000円(材料費)。おしほりを持参する。申し込みは7日までに同博物館(015-576-2009)へ。

「十勝毎日新聞」 2009年12月1日

# 冬休みに化石レプリカ作ろう

博物館で講座  
町内小学生対象

【浦幌】町立博物館の冬休み体験講座「化石のレプリカづくり」が、来年1月12日午後1時半から同館学芸員室（町教育文化センター2階）で開かれる。

模型作りを通して化石についての知識を深め、併せて冬休みの思い出をつくる。講師は足寄動物化石博物館の澤村寛館長。アンモナイト、三葉虫、スピノサウルスなど16種類

の化石レプリカの中から、1つ選んで作る。対象は浦幌町内の小学生20人。参加無料。申し込みは30日までに同館（015・576・2009）へ。

「十勝毎日新聞」 2009年12月24日

# アンモナイトでできた！

浦幌町立博物館  
冬休み体験講座  
化石のレプリカづくり



出来上がったレプリカを手に笑顔の児童

【浦幌】町立博物館の冬休み体験講座「化石のレプリカづくり」が12日、同館学芸員室で開かれ、町内の小学生29人が参加した。

講座は3年ぶりの開催。講師には足寄動物化石博物館の澤村寛館長を招いた。澤村館長は初めに、さまざまな動物の骨格や化石のレプリカを手に「牛など反すうする動物は上の前歯がない」などど特色を解説。また、浦幌で発掘されたデスモスチルスの歯について、奥歯は柱が6つ、くっついたような形で物をすりつぶすようにできている一方、前歯は下に2本あるだけであることを示し、児童たちに比較させた。

この後、児童はアンモナイト、三葉虫、デスモスチルスの歯など10種類以上の化石から1つ選び、レプリカ作りに挑戦。石こうを水で溶いて型に流し込み、何度も衝撃を与えて空気を抜き、固まるのを待った。

固まった石こうを型から取り出すと、本物そっくりの化石レプリカが現れ、児童は大喜び。藤村舞さん（浦幌小6年）は「難しかったけれど、うまくできてうれし」と話した。児童たちは、石こうで固めた火山灰にくるまれた石を取り出す「ミニ発掘」も体験した。

（大笹健郎）

「十勝毎日新聞」 2010年1月15日



手作りの味わい  
孔版画による寅

浦幌で年賀状展

【浦幌】全国の孔版画サークル会員らの作品を集めた「年賀状展」が、町教育文化センター階ロビーで開かれている。えとの「寅(とら)」などがさまざまなデザインで施された年賀状が並び、訪れ

た人の目を楽しませている。26日まで。

「うらほろ孔版画サークル」(森ひろ子会長)主催。同サークルのメンバーが所属する十勝孔版画の会(千葉定是会長)をはじめ、全国12団体の103人が172点を展示している。森会長は七色の光の帯の中を走る白虎、大山允子さんはかわいらしいトラの兄弟がじっと見詰めている様子を作品化した。

全国の版画愛好家から千葉会長のもとに届いた280点も併せて展示。千葉会長は「パソコンによる年賀状が全盛の中、手作りの味わいを見てほしい」と話している。

(大笹健郎)

年賀状展の会場と千葉会長(右)、うらほろ孔版画サークルのメンバー

〔十勝毎日新聞〕 2010年1月18日

【浦幌】博物館講座の移動自然(厳寒)体験教室「豊北雪原と自然」(町教委主催、町立博物館、中央公民館共催)が、2月6日午前10時から町豊北海岸周辺で開かれる。十勝川河口付近の水雪原を歩くスキーで進み、野鳥などの自然観察を行う人気イベント。参加者を募集している。

オオワシ、オジロワシをはじめめとする野鳥や動物たちの生き様、雪上の足跡などを観察する。アザラシの姿も見られることが多い。

付近は湿原や河川が入り乱れ、徒歩で入れない場所も多いが、厳寒期は凍結と積雪でスキーで歩くことができ、いつもと違った角度から観察が可能。浦幌野鳥倶楽部の武藤満雄代表ら

氷雪原で歩くスキー、自然観察を

浦幌で来月6日 参加者を募集

がガイド役を務める。

当日は午前9時半に町立博物館(うらほろ21)前に集合。各自、車で豊北海岸のトーチカ跡付近に移動する。同10時に十勝川河口へ向けて出発し、2時間ほど掛けて往復する。終了後は豚汁などが振る舞われる。

歩くスキー初心者には講習もある。参加料400円(傷害保険料など)。持ち物はスキーまたはスノーシューのほか、弁当、飲料水、発汗時の着替え、はし、食器(雪中豚汁用)など。歩くスキーはセットで無料レンタル可。数量限定のため、希望者は早めに連絡を。

参加申し込みは2月3日まで博物館(015・576・2009)へ。

〔十勝毎日新聞〕 2010年1月29日

# 厳寒の雪原進み感動

浦幌博物館移動教室に40人



海岸近くの雪原を歩くスキーで進む参加者

【浦幌】博物館講座の移動「ツアー」の一行も合流、約40人が参加した。同海岸のトーチカ跡に集合した一行は、歩くスキーで凍結した沼や湿原を巡るグループと、雪のない砂浜を歩くグループに分かれ、十勝川河口を目指した。浦幌野鳥倶楽部の武藤崎雄代表や、佐藤芳雄の「海のルート モニタ

イド役を務めた。好天に恵まれたものの、スタート時の気温は氷点下15度近い。厳寒体験。参加者はそれでも2時間ほどの行程を元気に歩き、スタート地点に戻った。道中、オジロワシやゴマフアザラシ、ミユビシギも観察できた。帯広市の会社員、森嶋太さん(21)は「いろいろなものが観察できて良かった」と話していた。帰着後は浦幌産シカ肉ジンギスカンや豚汁が振る舞われ、参加者の体を温めた。モニタツアーの一行は周辺の史跡なども訪ねた。(大笹健郎)

「十勝毎日新聞」 2010年2月11日

# 時代映す ひな人形

浦幌博物館収蔵展

【浦幌】町立博物館主催の収蔵資料展「ひな人形展」が、同館のある教育文化センターらぼろ21(町桜町)1階ロビーで開かれている。3月3日まで。昭和初期の御殿雛(ひな)



興味深そうにひな人形に見入る子供たち

から最近の七段飾りまでを展示。材質や表情など、時代とともに、つくりが移り変わっていく様子が分かる。掛け軸タイプのものもある。訪れた小学生らは「昔のおひなさまは、小さいのにとってもリアル」と興味深そうに見入っている。センター内の図書館では、関連の絵本も展示している。最終日の午後1時～同5時には、展示会場でひな人形と一緒に写真を撮影し、その写真をもらせる。問い合わせは同館(015・576・2009)へ。(大笹健郎)

「十勝毎日新聞」 2010年2月26日

## クイズ通し ヒグマ考えよう

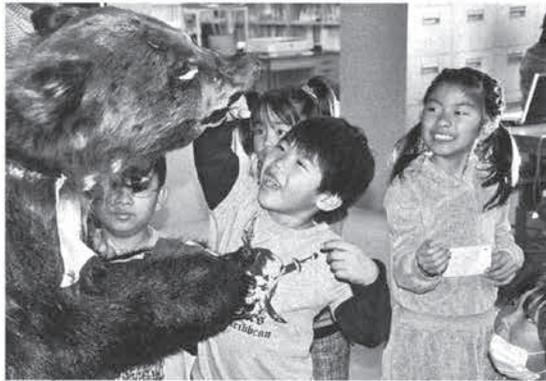
6日「学校」

【浦幌】「ヒグマの学校」(町立博物館主催、浦幌ヒグマ調査会)が、6日午後1時から教育文化センター2階学芸員室で開かれる。

参加無料。日本大学調査チームの協力を得て、ヒグマについてクイズを通して考える。申し込みは4日まで(同館)015・576・2009へ。

「十勝毎日新聞」 2010年3月3日

クマの毛皮を着て説明する日大生に大喜びの子供たち



浦幌で「ヒグマの学校」

## 楽しく学び くま博士に

【浦幌】「ヒグマの学校」(町立博物館主催)がこのほど教育文化センター2階学芸員室で開かれた。町内外の保育園児から高齢者まで13人が参加。浦幌ヒグマ調査会(佐藤芳雄代表)メンバーの説明を受け、その生態や被害対策などを楽しく学んだ。

「ヒグマの学校」は2002年に始まり、今回が3年ぶり。同調査会会員で、浦幌でフィールドワークを行っている日大生物資源科学部の学生・大学院生の4人と北大O.B.1人が講師を務めた。

初めに、メンバーがクマの着ぐるみや毛皮を身にまとい、登場。ヒグマの動きや大きさ、毛皮の手触りを子供たちに体験させたり、はく製つめの長さなどを見せた。薬品で処理したふんや、その中から出てきた食物の破片なども展示。子供たちは興味津々で触るなどした。

また、ヒグマの知識をクイズで出題し、白い毛を持ったヒグマがいることも説明

明。クマによる被害に遭わな  
いたための対処法も伝えた。最  
後に「浦幌をクマと仲良く暮  
らせるまち」と呼び掛け、  
参加者に「くま博士認定証」

を贈った。参加した下川原純君(浦幌  
小2年)は「とても楽しかった」と笑顔。深井勝八さん  
(67)「帯広市在住」は「普  
いた。」(大笹健郎)

段気付かぬことを教えも  
らった。ヒグマは北海道の財  
産。絶滅しないよう今後も研  
究を進めてほしい」と話して

「十勝毎日新聞」 2010年3月11日

## XII. 条例、教育委員会規則、教育委員会規程

### ○浦幌町教育文化センターの設置及び管理等に関する条例

(平成11年9月20日条例第20号)

(目的)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2の規定に基づき、浦幌町教育文化センター（以下「センター」という。）の設置及び管理等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 センターは、町民の教育文化の振興発展と学術の向上を図るため設置する。

(名称及び位置)

第3条 センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 浦幌町教育文化センター

位置 浦幌町字桜町16番地の1

(教育機関)

第4条 センター内に次の教育機関を置く。

(1) 浦幌町立図書館（以下「図書館」という。）

(2) 浦幌町立博物館（以下「博物館」という。）

(図書館奉仕)

第5条 図書館は、おおむね次の各号に掲げる奉仕を行う。

(1) 図書、記録及びその他必要な資料（以下「図書館資料」という。）を収集し、町民の利用に供すること。

(2) 図書館資料の目録を整備すること。

(3) 図書館資料について、その利用のための相談に応ずること。

(4) 読書会及び研修会等を開催するとともに、その奨励を行うこと。

(5) 時事等に関する情報及び参考資料を紹介し及び提供すること。

(6) 学校、博物館、公民館等と緊密に連絡し、協力すること。

(図書館の職員)

第6条 図書館に館長及び司書、その他必要な職員を置く。

(図書館協議会)

第7条 図書館に浦幌町立図書館協議会（以下「図書館協議会」という。）を置く。

2 図書館協議会は、図書館の管理運営に関し必要な事項について調査審議するものとする。

3 図書館協議会の委員（以下「委員」という。）は、10名以内とし教育委員会が委嘱する。

4 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

5 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(博物館の事業)

第8条 博物館は、おおむね次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本及びその他必要な資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示すること。
- (2) 博物館資料を博物館外で展示すること。
- (3) 博物館資料の利用に関し必要な説明及び指導等を行い、又は研究室等を利用させること。
- (4) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究及び保管、展示等の技術的研究を行うこと。
- (5) 博物館資料に関する案内書及び解説書等を作成し、頒布を行うこと。
- (6) 博物館資料に関する講演会及び研究会等を開催するとともに、その奨励を行うこと。
- (7) 浦幌町にある文化財保護法（昭和25年法律第214号）の適用を受ける文化財について、解説書及び目録を作成し、町民の文化財の利用の便を図ること。
- (8) 学校、図書館、公民館等と緊密に連絡し、協力すること。

(博物館の職員)

第9条 博物館に館長及び学芸員、その他必要な職員を置く。

(博物館協議会)

第10条 博物館に浦幌町立博物館協議会（以下「博物館協議会」という。）を置く。

2 博物館協議会は、博物館の管理運営に関し必要な事項について調査審議するものとする。

3 博物館協議会の委員の定数及び任期等については、第7条第3項から第5項の規定を準用する。

(報酬及び費用弁償)

第11条 委員が会議等に出席したとき又は公務により旅行したときは、非常勤特別職の職員の報酬等に関する条例（昭和31年浦幌町条例第19号）に定めるその他の委員会、協議会に相当する報酬及び費用弁償を支給する。

(利用の制限)

第12条 館長は、次の各号の一に該当する場合は、利用を禁止し、制限し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 建物又はその設備を滅失し、損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織及びその構成員の利益になると認められるとき。
- (4) その他管理運営上支障があると認めたとき。

(損害賠償の義務)

第13条 利用者が建物及び設備又は図書館資料若しくは博物館資料をき損、汚損又は滅失したときは、教育委員会が定める損害額を賠償しなければならない。

(規則への委任)

第14条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会規則で定める。

附 則

1 この条例は、平成11年12月1日から施行する。

2 浦幌町郷土博物館設置条例（昭和44年浦幌町条例第21号）は、廃止する。

## ○浦幌町立博物館の管理、運営等に関する教育委員会規則

(平成11年12月1日教育委員会規則第4号)

(目的)

第1条 この教育委員会規則は、浦幌町教育文化センターの設置及び管理等に関する条例（平成11年浦幌町条例第20号。以下「条例」という。）第4条第2号に規定する浦幌町立博物館（以下「博物館」という。）の管理、運営等について必要な事項を定めることを目的とする。

(博物館協議会)

第2条 浦幌町立博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織等については、浦幌町立図書館の管理、運営等に関する教育委員会規則（平成11年浦幌町教育委員会規則第3号）第2条の規定を準用する。

(開館時間)

第3条 常設展示室の開館時間は、午前10時から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めたときはその時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第4条 常設展示室の休館日は次のとおりとする。

- (1) 月曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定する休日
- (3) 年末年始
- (4) その他館長が必要と認めた日

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めたときは休館日を臨時に変更することができる。

(常設展示室利用者の遵守事項)

第5条 利用者は、この教育委員会規則及び館長の指示に従うほか、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 許可なく博物館資料を撮影し、又は複製しないこと。
- (2) 許可なく展示資料に手を触れないこと（特に指定した展示品を除く。）。
- (3) 音読、高談その他騒がしい行為をしないこと。
- (4) 飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 展示品の近くでインク、墨汁等を使用しないこと。

(博物館資料の寄贈等)

第6条 博物館は、博物館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 博物館に博物館資料を寄贈又は寄託しようとする者は、浦幌町財務規則（昭和60年浦幌町規則第12号）第158条の規定にかかわらず館長に博物館資料寄贈（寄託）申込書（別記様式第1号）を提出し、承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の提出があったときは遅滞なくその取扱いについて決定し、寄贈を受ける場合はその資料と引換えに博物館資料受領証（別記様式第2号）を寄贈者に交付しなければならない。また、寄託した者に対しては博物館資料受託証（別記様式第3号）を交付するものとする。

4 寄贈された博物館資料は理由のいかんを問わず返還しない。

(寄託博物館資料の返還)

第7条 寄託博物館資料は、博物館資料受託証と引換えに返還しなければならない。

(寄託博物館資料の損失責任)

第8条 博物館は、寄託された博物館資料が滅失若しくは紛失又は破損してもその責は負わないものとする。

(館外利用)

第9条 館長は、教育長の承認を得て、博物館の所蔵する博物館資料を他の博物館その他館長が適当と認められた者に館外貸出しをすることができる。ただし、寄託を受けた博物館資料については、原則として貸し出さないものとする。

(貸し出し期間)

第10条 前条に規定した博物館資料の貸し出し期間は、90日以内とする。

2 前項の規定にかかわらず、特に必要と認めるときは、博物館資料の貸し出し期間を延長することができる。

3 館長は、必要があるときは、貸し出し期間中であっても、博物館資料の返還を求めることができる。

(館外貸出しを受けた博物館資料の遵守義務)

第11条 博物館資料の貸出しを受けた者は、当該博物館資料を、承認を受けた利用の目的又は場所以外の目的又は場所以外で利用してはならない。

2 貸出しの許可を受けた者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 当該博物館資料が滅失し、又はき損したときは、当該博物館資料を原状に回復し、及びそれによって生じた損害を賠償すること。

(2) 当該博物館資料等の運搬及び維持管理に要する経費を負担すること。

(3) 承認を受けた利用目的又は利用の場所を変更しないこと。

(4) 貸出し満了期間までに指定された場所に返納すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか館長が指示する事項。

(博物館資料の特別利用)

第12条 博物館資料を学術上の研究その他の目的のため撮影、複写、模写又は模造（以下「特別利用」という。）を行おうとする者は、あらかじめ、特別利用申請書（別記様式第4号）又はそれに類する書類を館長に提出し、承認を求めなければならない。

2 前項の規定により特別利用を承認したときは、特別利用承認書（別記様式第5号）を交付するものとする。

3 前項の場合において、当該博物館資料が寄託を受けたものであるときは、文書により寄託者の承諾を得なければならない。

4 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(模写品等の刊行等の承認)

第13条 博物館資料を模写し、模造し、撮影し、又は複写したもの（以下「模写品等」という。）を刊行し、若しくは複製し、又は研究発表等に使用しようとする者は、あらかじめ、模写品等使用申請書（別記様式第6号）又はそれに類する書類を館長に提出し、承認を受けなければならない。

2 館長は、模写品等の使用を承認したときは、模写品等使用承認書（別記様式第7号）を交付するものとする。

(委任)

第14条 この教育委員会規則に定めるもののほか必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この教育委員会規則は、平成11年12月1日から施行する。
- 2 浦幌町郷土博物館設置条例施行規則（昭和44年浦幌町教育委員会規則第1号）は、廃止する。
- 3 旧教育委員会規則により現に、収集、保管及び館外貸出し等されている博物館資料は、この教育委員会規則に基づき収集、保管及び貸出し等されているものとみなす。



XII. 条例、教育委員会規則、教育委員会規程

別記様式第5号

|  |                        |     |
|--|------------------------|-----|
| 特 別 利 用 承 認 書  |                        |     |
| 年 月 日  |                        |     |
| (申請者) 様  |                        |     |
| 浦幌町立博物館長 印   |                        |     |
| 年 月 日申請の浦幌町立博物館資料の特別利用を、次のように承認します。  |                        |     |
| 記  |                        |     |
| 利用目的   |                        |     |
| 利用期間   | 年 月 日 ~ 年 月 日 ( 日間)    |     |
| 利用方法   | 閲覧・模写・模造・撮影・複写・その他 ( ) |     |
| 利 用 資 料 名  | 点 数                    | 備 考 |
|  |                        |     |
|  |                        |     |
|  |                        |     |
|  |                        |     |
|  |                        |     |
| 注意 1 利用時間は、午前10時から午後5時までとする。<br>2 利用に当たっては、係員の指示に従うこと。<br>3 前項に違反したときは、承認を取り消すことがある。 |                        |     |

別記様式第6号

|   |               |     |
|---|---------------|-----|
|   | 受付番号          | 第 号 |
| 模 写 品 等 使 用 申 請 書                           |               |     |
| 年 月 日                                       |               |     |
| 浦幌町立博物館長 様                                  |               |     |
| 申請者 住所 (法人又は団体にあつては主たる事務所所在地)               |               |     |
| 氏名 (法人又は団体にあつては名称及び代表者氏名) 印                 |               |     |
| 電話  |               |     |
| 次のように浦幌町立博物館資料の模写等をしたので、申請します。              |               |     |
| 記   |               |     |
| 使用目的  |               |     |
| 模写等区分                                       | 模写・模造・撮影・複写   |     |
| 製作等区分                                       | 刊行・複製・研究発表等   |     |
| 作品名   |               |     |
| 製作数   |               |     |
| 予定価格  | 有料 ( 円 ) ・ 無料 |     |
| 製作予定年月日                                     | 年 月 日         |     |
| 模写等資料名                                      |               |     |
|   |               |     |
|   |               |     |
|   |               |     |
|   |               |     |
| 注) 刊行企画書、複製仕様書、研究発表会の開催要項等の参考資料があれば添付して下さい。 |               |     |

別記様式第7号

|   |               |     |
|---|---------------|-----|
|   | 承認番号          | 第 号 |
| 模 写 品 等 使 用 承 認 書                                       |               |     |
| 年 月 日   |               |     |
| (申請者) 様   |               |     |
| 浦幌町立博物館長 印  |               |     |
| 年 月 日申請の浦幌町立博物館資料模写等を、次のように承認します。                       |               |     |
| 記   |               |     |
| 使用目的  |               |     |
| 模写等区分   | 模写・模造・撮影・複写   |     |
| 製作等区分   | 刊行・複製・研究発表等   |     |
| 作品名   |               |     |
| 製作数   |               |     |
| 予定価格  | 有料 ( 円 ) ・ 無料 |     |
| 製作予定年月日   | 年 月 日         |     |
| 模写等資料名  |               |     |
|   |               |     |
|   |               |     |
|   |               |     |
|   |               |     |
| 注) 1 上記使用目的以外に使用しないこと。<br>2 使用に際しては、浦幌町立博物館所蔵の旨を明記すること。 |               |     |

## ○浦幌町立博物館処務規程

(平成11年12月1日教育委員会規程第2号)

改正 平成13年6月29日教委訓令第5号  
平成15年6月30日教委訓令第3号

(目的)

第1条 この教育委員会規程は、浦幌町立博物館（以下「博物館」という。）の機構と事務処理上必要な事項を定めることを目的とする。

(職員の職)

第2条 博物館に館長及び学芸員を置き、必要に応じて係長、主任、主査、主事その他の職員及び学芸員補を置くことができる。

(任免)

第3条 前条に規定された博物館の職員の任免は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第34条の規定に基づき、教育長の推薦により、教育委員会が行う。

(服務)

第4条 博物館の職員の服務は、別に定めるものを除き、浦幌町教育委員会事務局職員の例による。

(職務の分掌)

第5条 館長は、上司の命を受けて、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 学芸員は、上司の命を受け、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第4条第4項に規定する職務を行う。

3 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。

4 主任は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理する。

5 主査は、上司の命を受け、担当事務を処理する。

6 主事及びその他の職員は、上司の命を受け、事務をつかさどる。

7 学芸員補は、法第4条第6項に規定する職務を行う。

(係の設置)

第6条 博物館に博物館係を置く。

(事務の分掌)

第7条 博物館係は、次の事務をつかさどる。

- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 人事、経理、文書その他庶務に関すること。
- (3) 浦幌町立博物館協議会に関すること。
- (4) 予算及び決算に関すること。
- (5) 物品の出納及び管理に関すること。
- (6) 施設設備の管理に関すること。
- (7) 博物館資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (8) 博物館資料の説明及び助言等に関すること。
- (9) 博物館資料の調査研究に関すること。

- (10) 博物館資料の案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の作成及び配布に関すること。
- (11) 博物館事業の広報に関すること。
- (12) 博物館事業の企画運営に関すること。
- (13) その他博物館運営及び博物館資料に関する専門的事項に関すること。

第8条 削除

第9条 削除

(専決)

第10条 館長は、他に定めのあるものを除き、次の各号に掲げる事務について専決することができる。

- (1) 施設設備の使用及び管守に関すること。
- (2) 専用公印の管守に関すること。
- (3) 関係団体の育成及び指導等に関すること。
- (4) 博物館の行う恒例又は軽易な事業の企画運営に関すること。
- (5) 前各号に準ずる軽易な事務処理に関すること。

第11条 前条各号に掲げる事項であっても、特に重要な事項又は取扱上異例に属する事項若しくは疑義のある事項の処理については、教育長の承認を受けて処理しなければならない。

(事業計画及び事業実績報告等)

第12条 館長は、当該年度に実施すべき年間の事業計画を教育長が別に定める日までに届け出るものとする。

第13条 館長は、当該年度に実施された年間の事業実績報告等を教育長が別に定める日までに報告しなければならない。

(帳簿)

第14条 博物館には、次の各号に掲げる簿冊を備え付け、常に適正に記帳、整備しなければならない。

- (1) 博物館日誌（別記様式第1号）
- (2) 備品台帳（収蔵されている博物館資料を除く。）
- (3) 図書台帳
- (4) 旅行命令簿
- (5) 経理簿
- (6) 会議日誌
- (7) 出勤簿
- (8) 公文書綴り
- (9) 沿革史
- (10) 博物館資料寄贈申込台帳
- (11) 博物館資料寄託申込台帳
- (12) 博物館資料受入台帳（別記様式第2号）
- (13) その他館長が必要と認めた簿冊

(合議)

第15条 館長は、事務執行上異例又は重要と認められるものは、教育委員会事務局の関係課長等と合議しなければならない。

(公印)

第16条 博物館の文書に用いる印章（以下「公印」という。）は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 浦幌町立博物館協議会長の印
  - (2) 浦幌町立博物館の印
  - (3) 浦幌町立博物館長の印
- 2 前項の公印は、館長が保管する。
  - 3 公印の規格、定位置及び定数は、別表のとおりとする。
  - 4 公印の刻字面の様式は、別記様式第3号のとおりとする。

(文書の記号)

第16条の2 文書の記号は、教育委員会名及び博物館名をもって構成する。

- 2 前項の記号は、次のとおりとする。

浦博物

(博物館資料の受入れ)

第17条 博物館で受け入れた資料は、博物館資料受入台帳に所定の事項を記入し、その資料の由来等を調査後、速やかに博物館資料記録票を作成しなければならない。

第18条 前条の博物館資料には、その由来等を明らかにするために博物館資料整理カード（別記様式第4号）を貼付しなければならない。ただし、それによりがたい場合は、その他適当な方法でその由来等を明らかにしなければならない。

(準用規定)

第19条 この教育委員会規程に定めるもののほか、必要な事項は浦幌町教育委員会事務局処務規程（平成13年浦幌町教育委員会訓令第2号）を準用する。

(読替え規定)

第20条 浦幌町教育委員会事務局処務規程を準用する場合、「課長」とあるのを「館長」と読み替えるものとする。

附 則

- 1 この教育委員会規程は、平成11年12月1日から施行する。
- 2 この教育委員会規程施行の際に現に使用中の別記様式は、当分の間、従前のものを使用することを妨げない。

附 則（平成13年6月29日教委訓令第5号）

この教育委員会訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成15年6月30日教委訓令第3号）

この教育委員会規程は、平成15年7月1日から施行する。

別表（第16条第3項関係）

| 種 別           | 規 格        | 定数 | 定 位 置  | 個数 | 摘 要     |
|---------------|------------|----|--------|----|---------|
| 浦幌町立博物館協議会長の印 | 18ミリメートル四方 | 1  | 博物館管理係 | 1  | 古天（横書き） |
| 浦幌町立博物館の印     | 30ミリメートル四方 | 1  | 博物館管理係 | 1  | 古天（横書き） |
| 浦幌町立博物館長の印    | 18ミリメートル四方 | 1  | 博物館管理係 | 1  | 古天（横書き） |



## XIII. 平成21年度予算

### 10款 教育費 5項 社会教育費 3目 博物館費

(単位:千円)

| 当初<br>予算額 | 補正額                 | 計     | 節                   |        | 説<br>明 |       |     |
|-----------|---------------------|-------|---------------------|--------|--------|-------|-----|
|           |                     |       | 区<br>分              | 金<br>額 |        |       |     |
| 2,145     | 0                   | 2,145 | 1                   | 報酬     | 25     | 委員報酬  | 25  |
|           |                     |       | 8                   | 報償費    | 64     | 報償金   | 64  |
|           |                     |       | 9                   | 旅 費    | 74     | 費用弁償  | 1   |
|           |                     |       |                     |        |        | 普通旅費  | 73  |
|           |                     |       | 11                  | 需用費    | 1,728  | 消耗品費  | 393 |
|           |                     |       |                     |        |        | 印刷製本費 | 532 |
|           |                     |       |                     |        |        | 光熱水費  | 18  |
|           |                     |       |                     |        |        | 修繕料   | 785 |
| 12        | 役務費                 | 178   | 通信運搬費               | 84     |        |       |     |
|           |                     |       | 手数料                 | 94     |        |       |     |
| 18        | 備品購入費               | 48    | 備品購入費               | 48     |        |       |     |
| 19        | 負担金、補<br>助及び交付<br>金 | 28    | 北海道博物館協会負担金         | 15     |        |       |     |
|           |                     |       | 帯広百年記念館運営連絡協議会負担金   | 3      |        |       |     |
|           |                     |       | 道東3管内博物館施設等連絡協議会負担金 | 5      |        |       |     |
|           |                     |       | 研修会参加負担金            | 5      |        |       |     |

## 浦幌町立博物館年報 第11号

発行日 2010年10月31日

編集 佐藤芳雄

発行所 浦幌町立博物館  
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16番地の1  
電話 015-576-2009 FAX. 015-576-2452

印刷所 大同出版紙業株式会社  
〒080-0017 北海道帯広市西7条南6丁目2番地